

# 地域医療に関するアンケート 集 計 結 果



全国健康保険協会 奈良支部  
協会けんぽ

## 1. アンケートの目的

協会けんぽ加入者の地域医療に関する意識や意見、要望等を把握し、関係各方面への意見発信等、保険者機能を発揮するための企画立案に資する基礎資料とする。

特に、県の「地域医療構想」にかかる協議の場において、加入者や患者のニーズが地域の医療に取り入れられるよう、貴重な加入者や患者の生の声として発信していく。

## 2. アンケート実施時期：平成30年10月

## 3. アンケート対象・回収部数

・アンケート対象：健康保険委員※を委嘱している協会けんぽ奈良支部加入事業所1,278社に対して、  
1事業所につき3部の提出を依頼。（合計3,834件）

・アンケート回収部数：1,519件（回収率39.6%）

※健康保険委員：協会けんぽの健康保険事業の推進のため、広報・相談・モニター等にご協力  
いただく被保険者の方を「健康保険委員」として委嘱しています。

注 回答の割合については端数処理の都合上、合計が100.0%にならないことがあります。

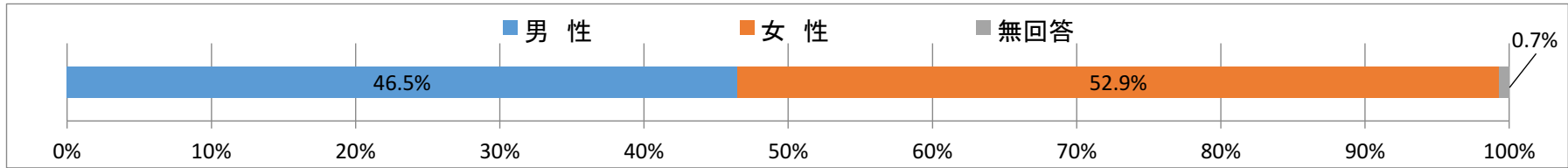
# 回答者の属性(男女比)

👉 回答者の男女比はほぼ半数ずつ。

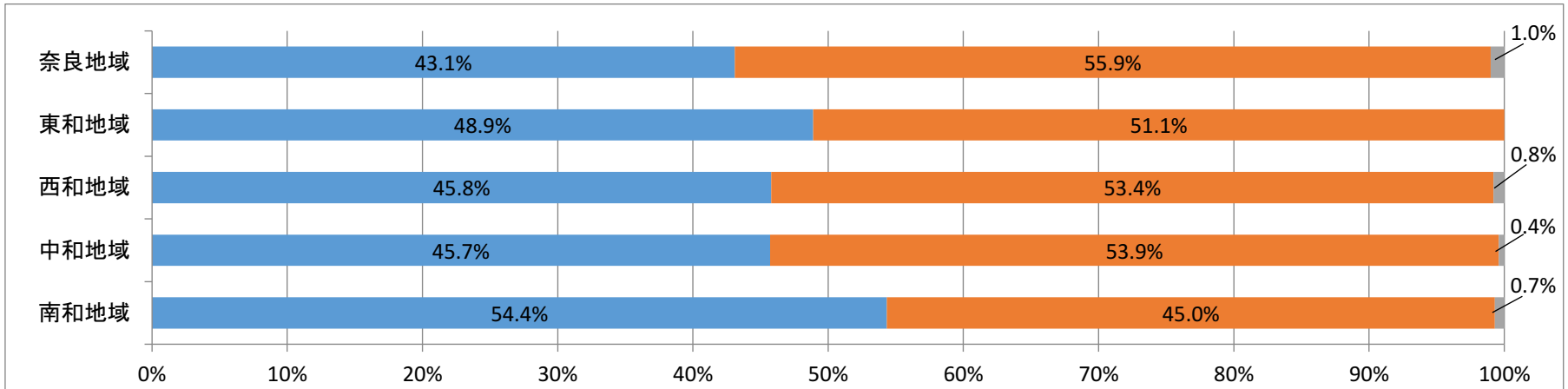
問1 回答者の性別

	回答数	割合
男性	706	46.5%
女性	803	52.9%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



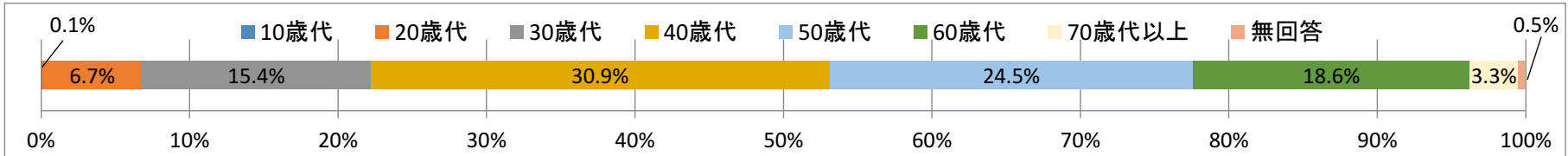
# 回答者の属性(年齢)

👉 回答者の年齢は、40歳代、50歳代が中心。

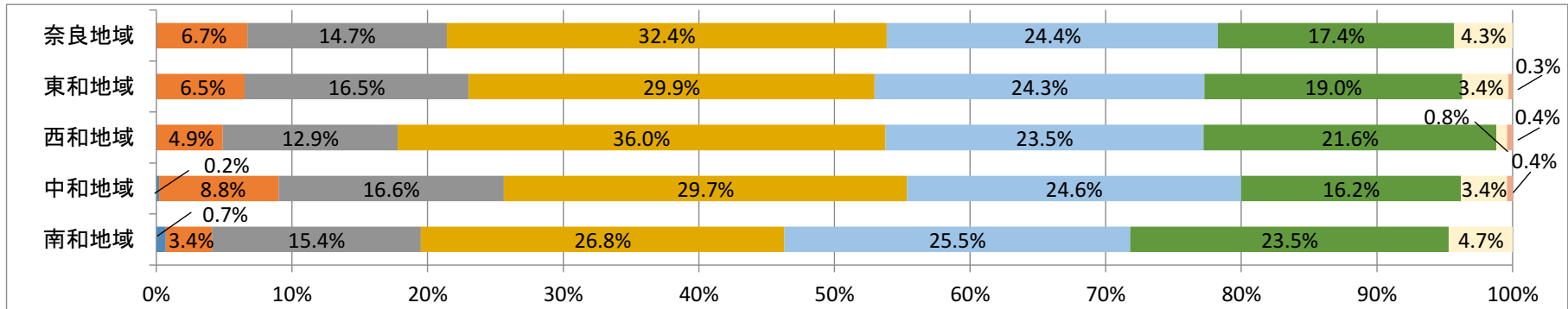
問2 回答者の年齢

	回答数	割合
10歳代	2	0.1%
20歳代	102	6.7%
30歳代	234	15.4%
40歳代	470	30.9%
50歳代	372	24.5%
60歳代	282	18.6%
70歳以上	50	3.3%
無回答	7	0.5%
合計	1,519	100.0%

○全体



○各二次医療圏別の割合



## 二次医療圏別回答者の割合(居住地別)

👉 二次医療圏別の回答者数については以下の通り。

問3 回答者の居住地

	回答数	割合
奈良地域	299	19.7%
東和地域	321	21.1%
西和地域	264	17.4%
中和地域	475	31.3%
南和地域	149	9.8%
無回答	11	0.7%
合計	1,519	100.0%

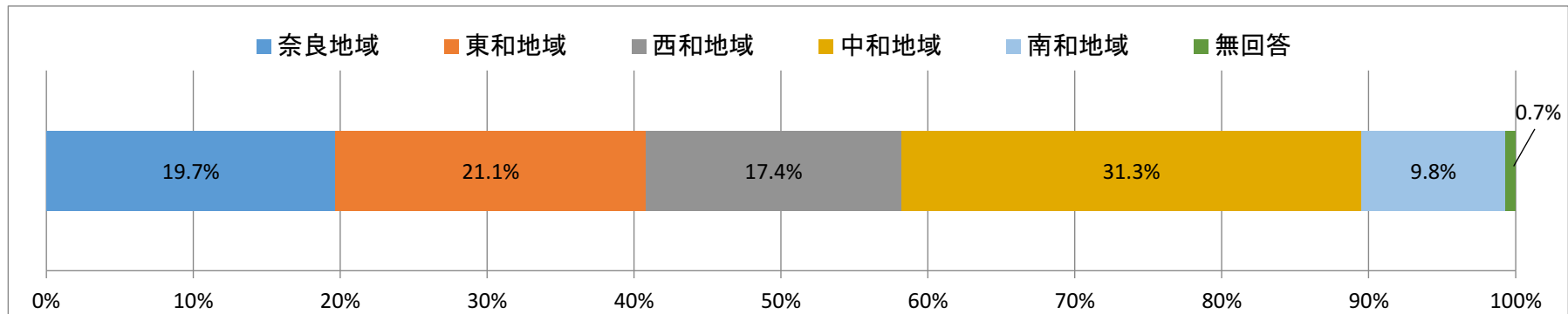
奈良地域は奈良市

東和地域は天理市・桜井市・宇陀市・山添村・磯城郡・曾爾村・御杖村

西和地域は大和郡山市・生駒市・生駒郡・上牧町・王寺町・河合町

中和地域は大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高市郡・広陵町

南和地域は五條市・吉野郡



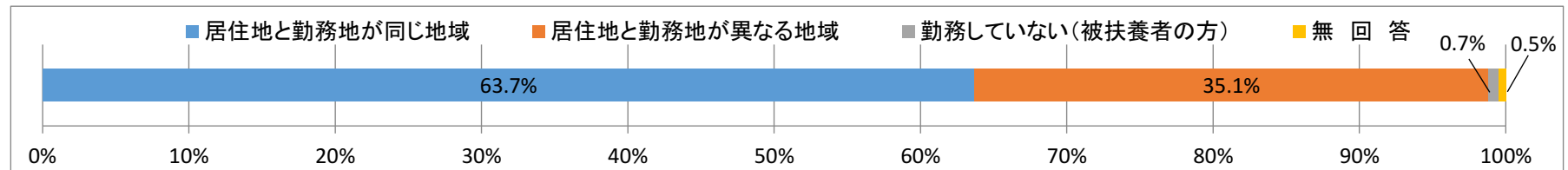
## 居住地と勤務地域の状況

東和、西和地域では、他の地域と比較して、居住地域外で勤務している者の割合がやや高い。

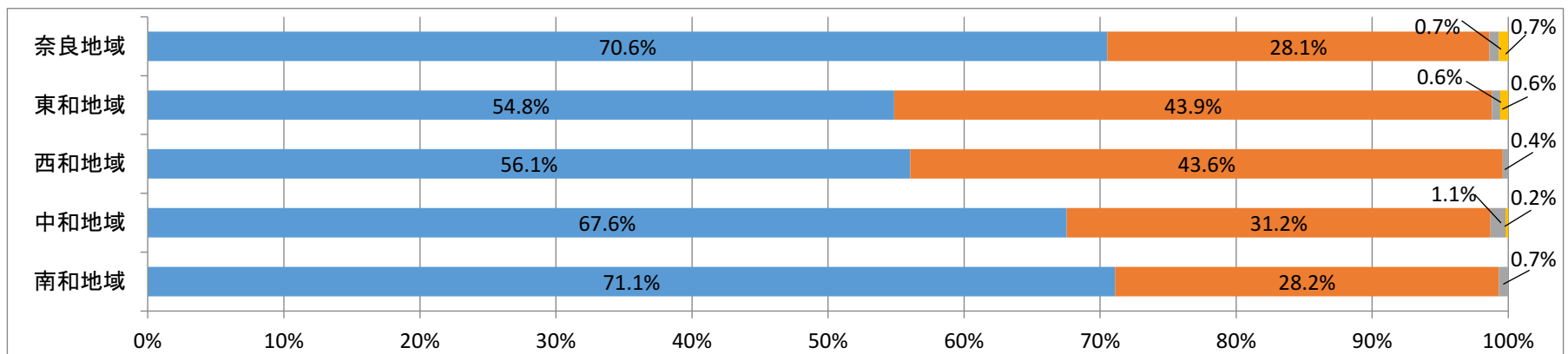
問4 回答者が勤務している地域

	回答数	割合
居住地と勤務地が同じ地域	968	63.7%
居住地と勤務地が異なる地域	533	35.1%
勤務していない(被扶養者の方)	11	0.7%
無回答	7	0.5%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



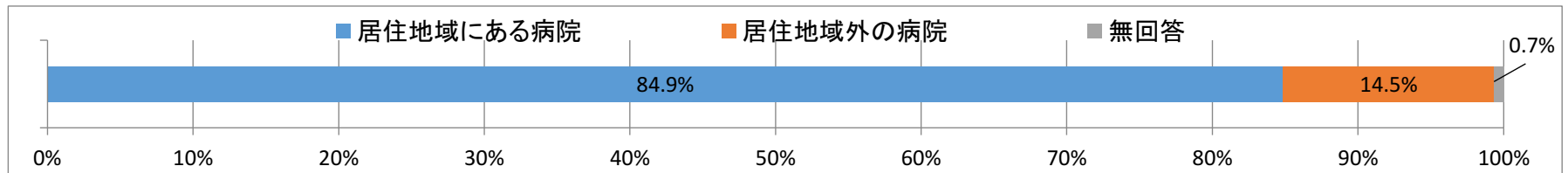
## 普段よく利用する病院（居住地域内か否か）

👉 普段よく利用する病院について、回答者の約85%が「居住地域にある病院」を利用すると回答。

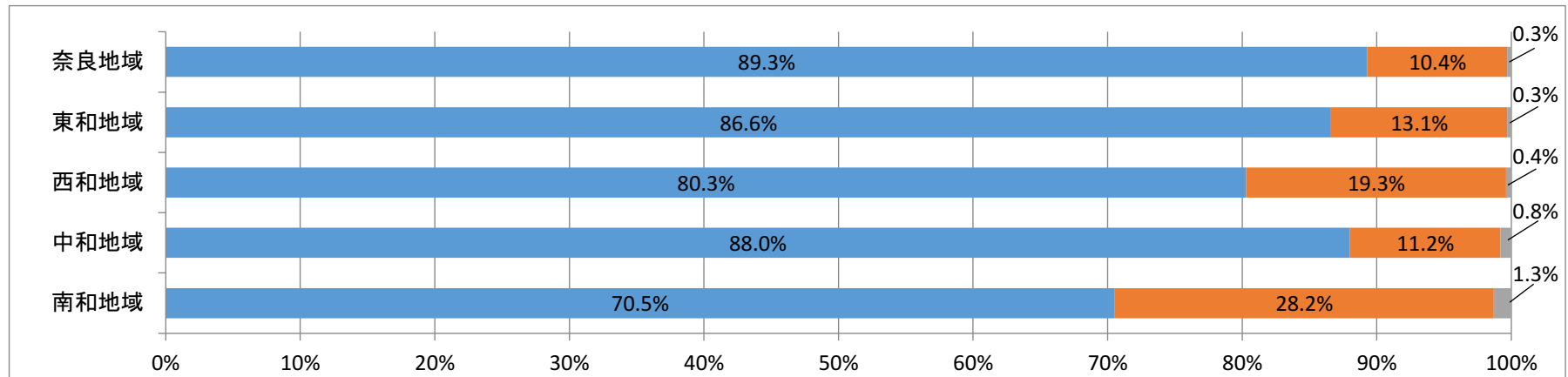
問5 普段よく利用する病院はどちらですか。

	回答数	割合
居住地域にある病院	1,289	84.9%
居住地域外の病院	220	14.5%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



## 普段よく利用する病院の選定理由

☞ 普段よく利用する病院を選ぶ理由として、「家の近くにある」と回答した方が約7割である。

☞ 南和地域は他の地域に比べ、「家の近くにある」と回答した方の割合が低い。

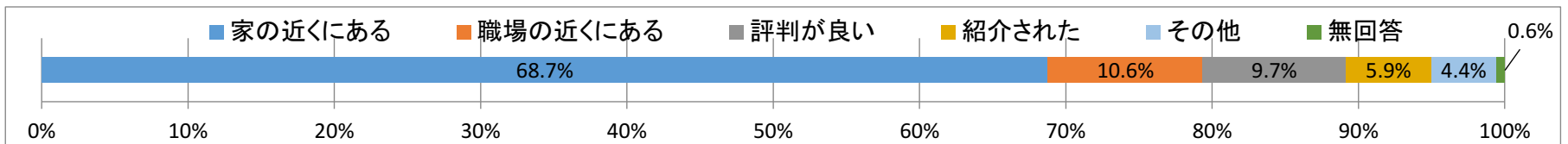
問5-1 その病院を選んだ主な理由をお聞かせください。(〇は一つ)

	回答数	割合
家の近くにある	1,044	68.7%
職場の近くにある	161	10.6%
評判が良い	148	9.7%
紹介された	90	5.9%
その他	67	4.4%
無回答	9	0.6%
合計	1,519	100.0%

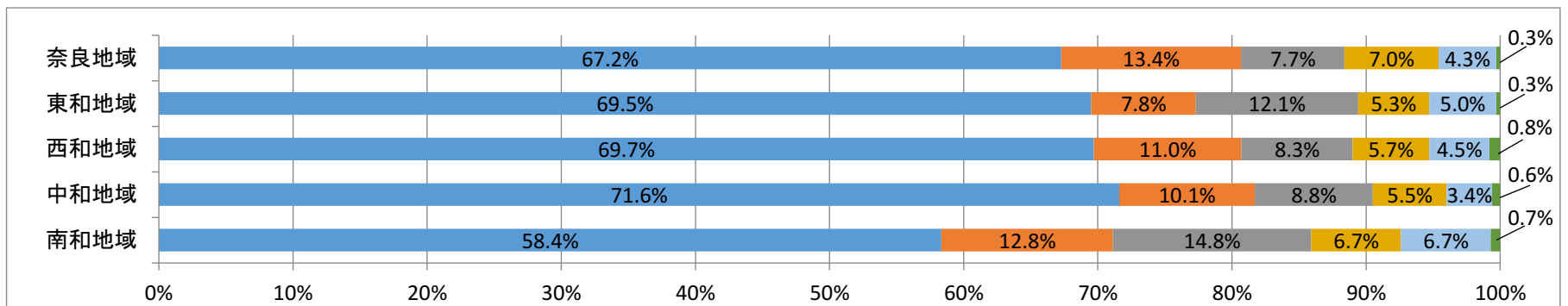
その他の例

「昔からかかっている」、「毎年健診を受けている」、「通勤途中にある」、「職場の主治医」、「専門医がいる」、「総合病院だから」等

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合





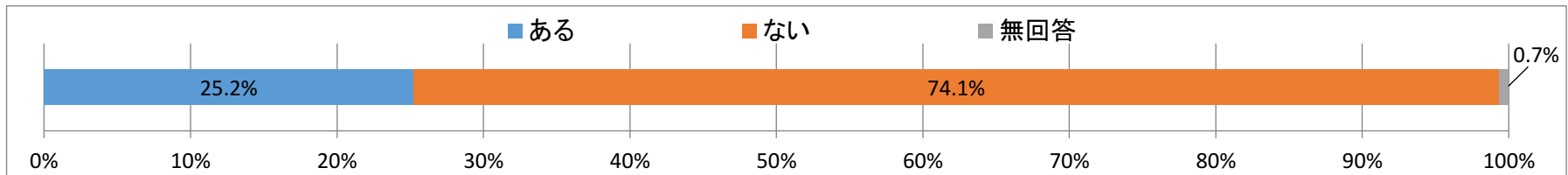
## 病院受診時における二次医療圏の意識

- 二次医療圏を「意識したことがある」と回答したのは、全体の約25%にとどまっている。
- 南和地域は他の地域に比べ、「意識したことがある」と回答した割合が高い。

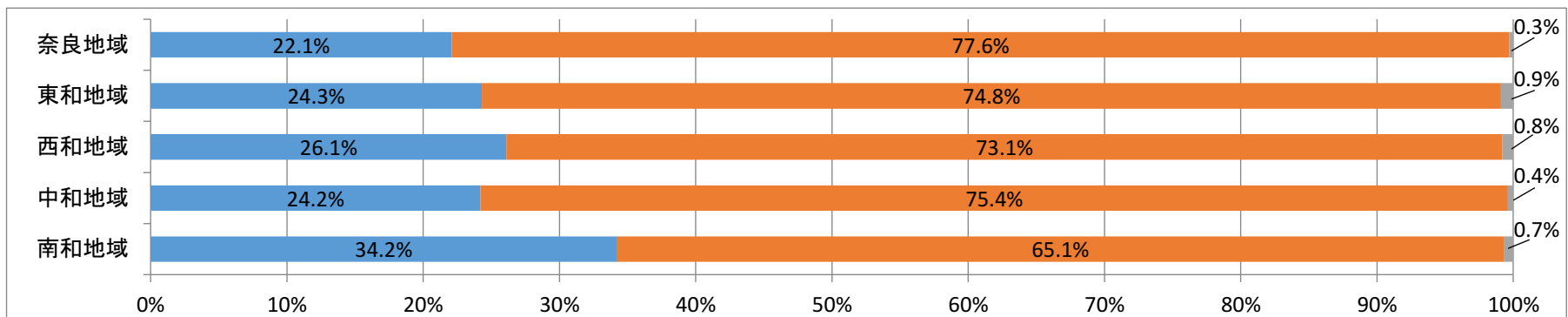
問6 入院など病院を受診する際、「二次医療圏」を意識したことがありますか。

	回答数	割合
ある	383	25.2%
ない	1,126	74.1%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



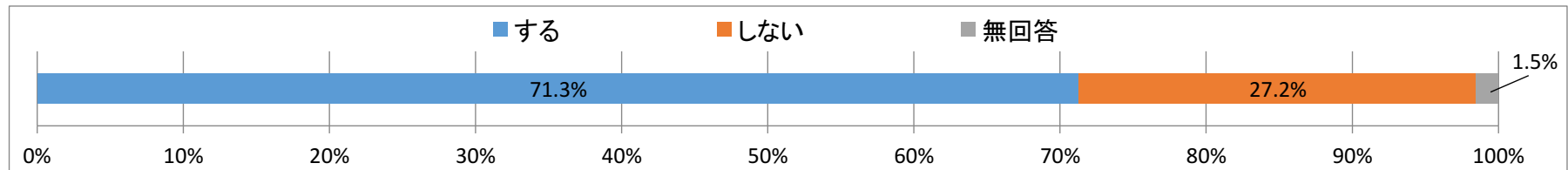
## 居住地域(二次医療圏)の病院への入院について

👉 約7割の方が、入院が必要な時に、居住地域(二次医療圏)の病院に入院すると回答。

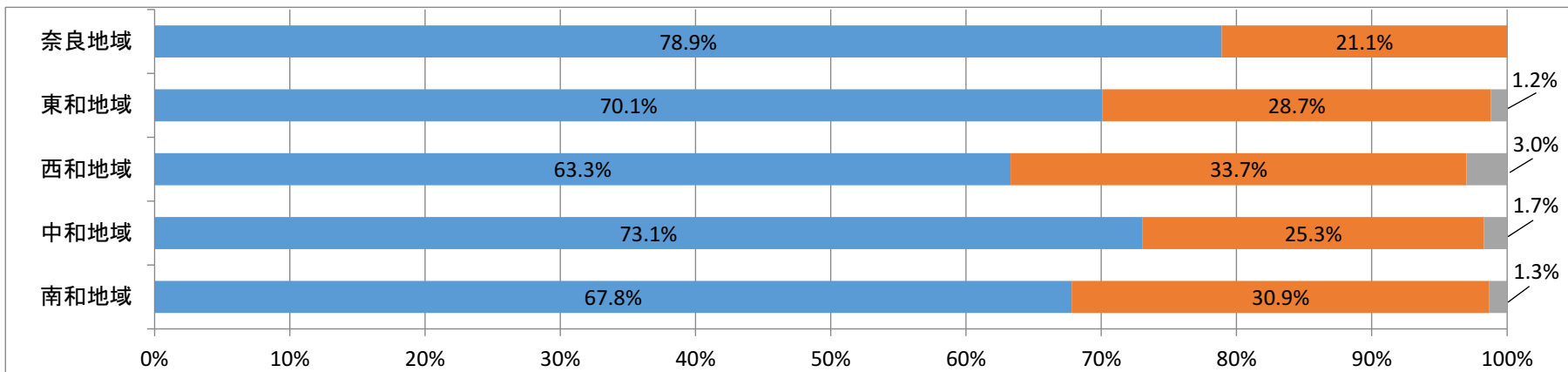
問7 入院が必要な時、お住まいの二次医療圏の病院に入院しますか。

	回答数	割合
する	1083	71.3%
しない	413	27.2%
無回答	23	1.5%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



## 病院受診時における二次医療圏の意識

二次医療圏の病院に入院しない理由について、回答の約5割が「口コミや評判で決めるため」となっている。

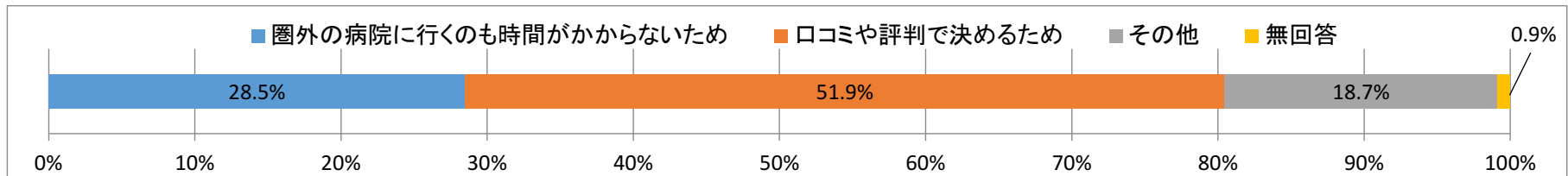
問7-1 居住地内の病院に入院しない理由をお聞かせください。(問7で「しない」と回答の方) (複数回答可)

	回答数	割合
圏外の病院に行くのも時間がかからないため	134	28.5%
口コミや評判で決めるため	244	51.9%
その他	88	18.7%
無回答	4	0.9%
合計	470	100.0%

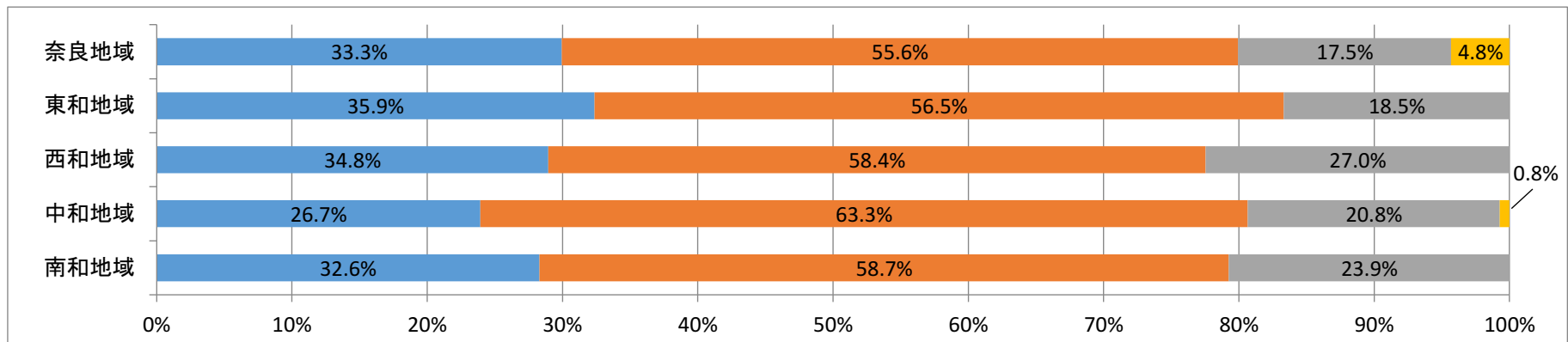
その他の例

「専門医がいる」、「設備の整った病院」、「病院の実力で決める」、「総合病院」、「かかりつけ医のすすめ」、「長年通院し信頼している」等

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



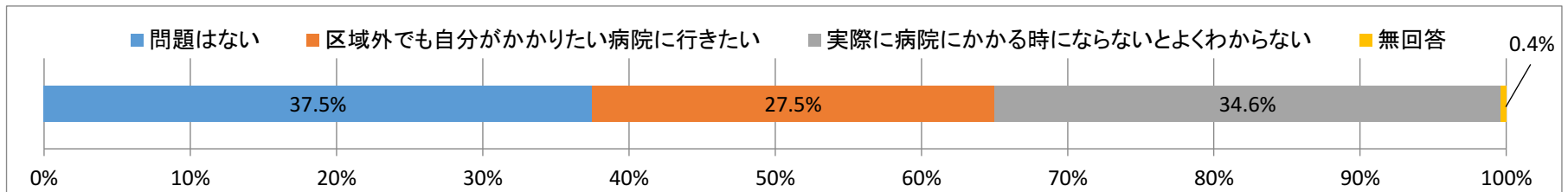
## 地域内の病院を利用することについて

基本的には住んでいる二次医療圏にある病院を利用することについて、約3割は「区域外でも自分がかかりたい病院に行きたい」と回答。

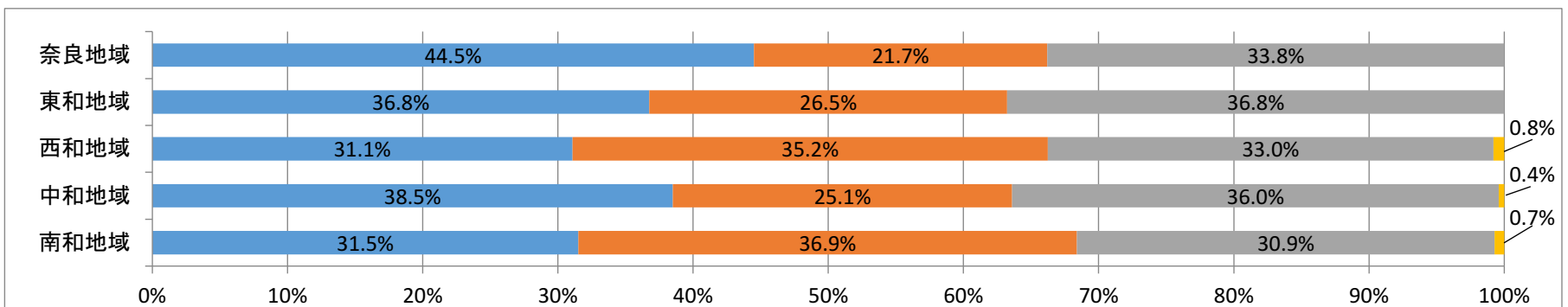
問8 基本的に住んでいる二次医療圏にある病院を利用することについて、どう思いますか。(○は一つ)

	回答数	割合
問題はない	569	37.5%
区域外でも自分がかかりたい病院に行きたい	418	27.5%
実際に病院にかかる時にならないとよくわからない	526	34.6%
無回答	6	0.4%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



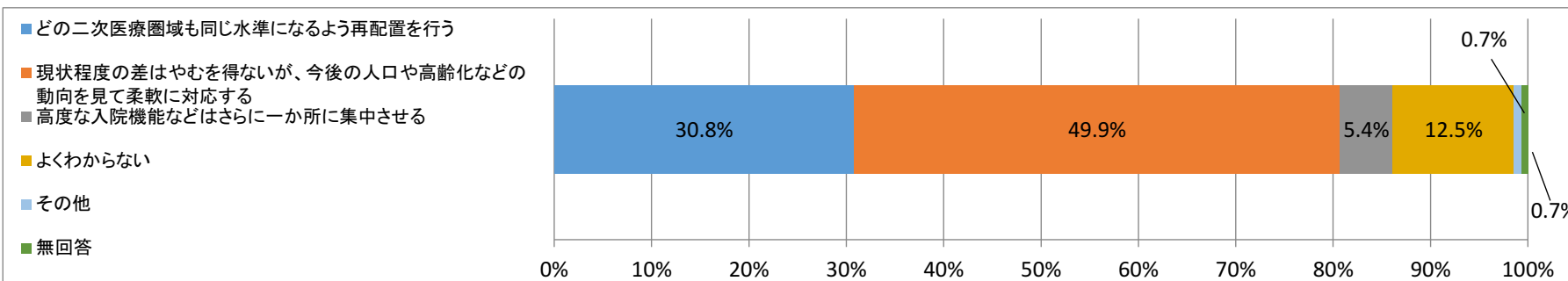
## 病院や医師の数などの地域(二次医療圏域)差について

👉病院や医師の数の地域差について、約半数が「現状程度の差はやむを得ないが、今後の人口や高齢化などの動向を見て柔軟に対応する」ことが望ましいと回答。

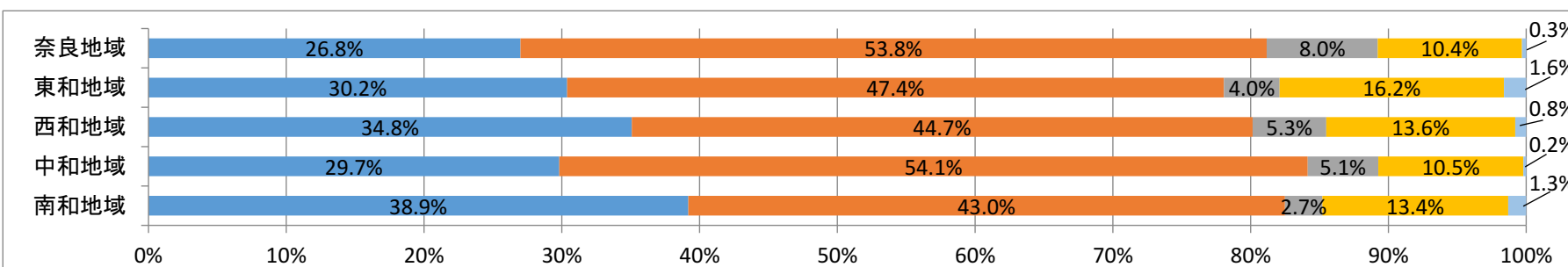
問9 病院や医師の数などについては、二次医療圏域の間で差が生じています。今後、二次医療圏域間の差についてどうなるのが望ましいですか。(〇は一つ)

	回答数	割合
どの二次医療圏域も同じ水準になるよう再配置を行う	468	30.8%
現状程度の差はやむを得ないが、今後の人口や高齢化などの動向を見て柔軟に対応する	758	49.9%
高度な入院機能などはさらに一か所に集中させる	82	5.4%
よくわからない	190	12.5%
その他	11	0.7%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

### ○全体



### ○各二次医療圏別の割合



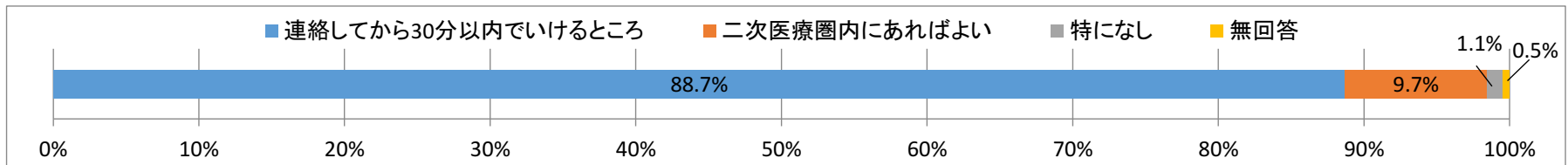
## 緊急時における医療機関の所在地

緊急性を要する場合は、二次医療圏内よりも近くに医療機関があることが安心と考えている方が約9割を占めた。

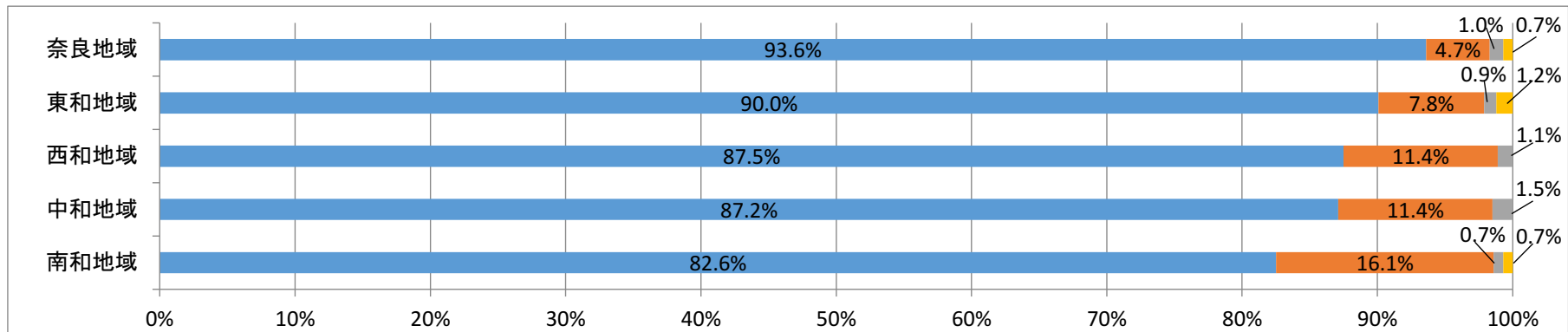
問10 脳卒中や心筋梗塞など緊急性を要する場合、医療機関は最低限どこにあれば安心ですか。(〇は一つ)

	回答数	割合
連絡してから30分以内でいけるところ	1,347	88.7%
二次医療圏内にあればよい	148	9.7%
特になし	17	1.1%
無回答	7	0.5%
合計	1,519	100.0%

〇 全体



〇 各二次医療圏別の割合



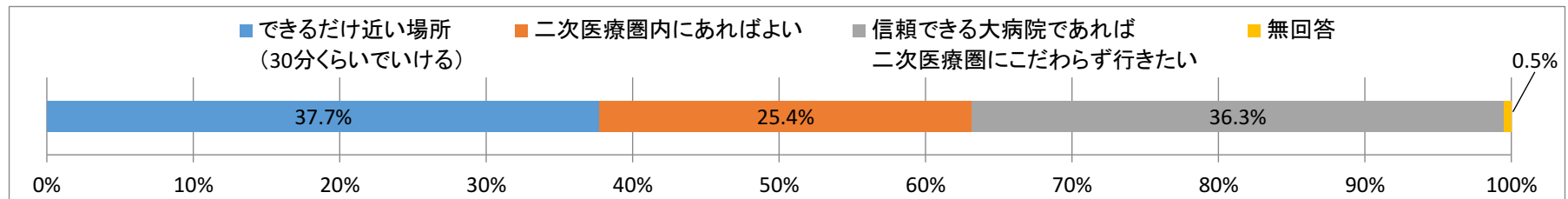
## 緊急性を要しない場合の医療機関の所在地

☞ 先進・高度・特殊医療を要する病院の場所について、回答者の約40%は、緊急性を要しない場合でも「できるだけ近い場所」にあれば安心と回答しているが、回答者の約35%は「信頼できる大病院であれば二次医療圏にこだわらず行きたい」と回答。

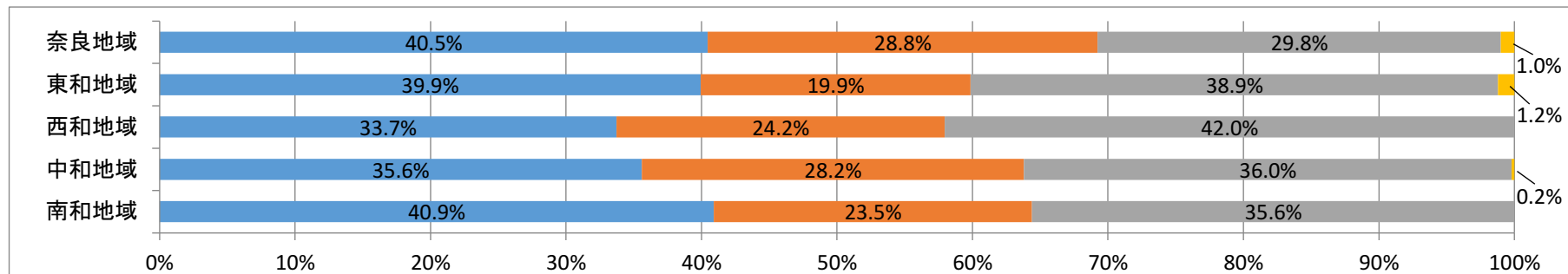
問11 小児やがん等の先進・高度・特殊医療を要するが、ある程度待てる（緊急性を要しない）場合、医療機関はどこにあれば安心ですか。（〇は一つ）

	回答数	割合
できるだけ近い場所(30分くらいでいける)	573	37.7%
二次医療圏内にあればよい	386	25.4%
信頼できる大病院であれば二次医療圏にこだわらず行きたい	552	36.3%
無回答	8	0.5%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



## 高度医療に対応できる病院の配置について

高度医療に対応できる病院の配置については、「より一か所に集中させる」(14.0%)を回答した方よりも「各地域に分散させる」(57.9%)と回答した方が多かった。

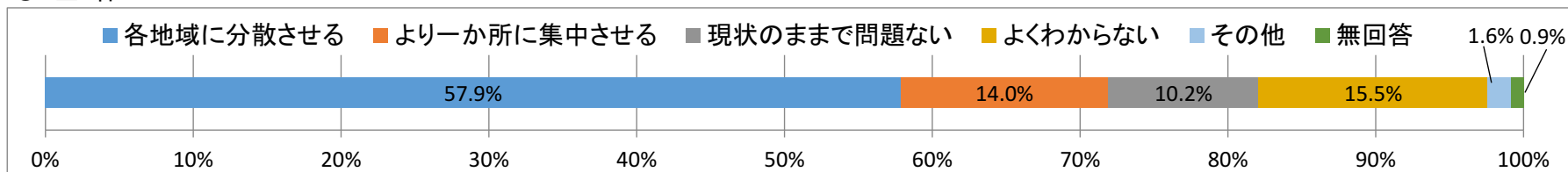
問12 将来的に高度な治療内容に対応した病院の配置については、どうなるのが良いと思いますか。(〇は一つ)

	回答数	割合
各地域に分散させる	879	57.9%
より一か所に集中させる	213	14.0%
現状のままで問題ない	155	10.2%
よくわからない	235	15.5%
その他	24	1.6%
無回答	13	0.9%
合計	1,519	100.0%

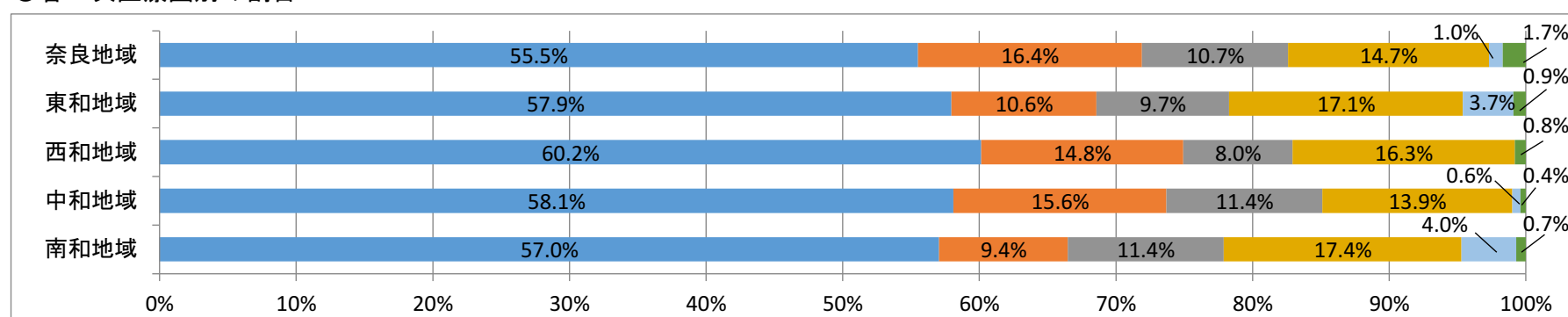
その他の例

「場所よりも交通手段・時間」、「一か所集中でも良いと思うが、アクセスが問題。」、「北部に人口が集中している奈良において、各医療圏に中核となる病院があればと思います。」、「大病院が県北部に今だ多い。」、「高度な治療は一か所に集中させ、遠隔やネット等で各地域と繋がる様になればいい。」等

〇 全体



〇 各二次医療圏別の割合





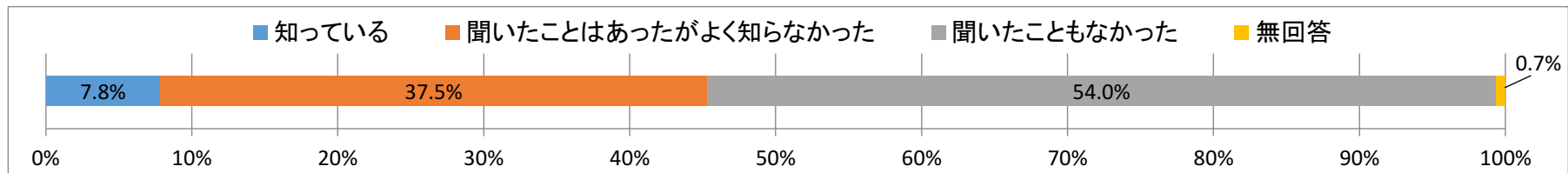
# 地域医療構想の認知度

👉 本アンケートでは、「地域医療構想」についての現在の認知度は低い結果となった。

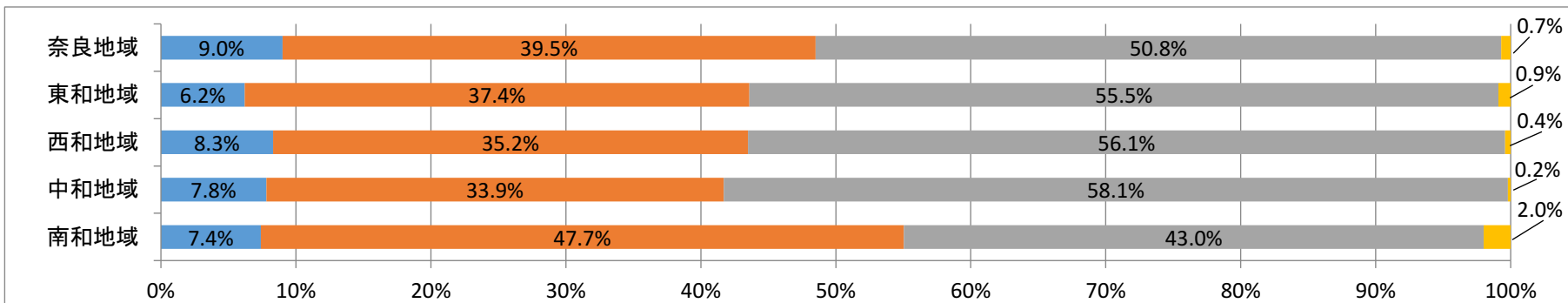
問13 「地域医療構想」について、これまでご存知でしたか。(〇は一つ)

	回答数	割合
知っている	119	7.8%
聞いたことはあったがよく知らなかった	569	37.5%
聞いたこともなかった	821	54.0%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



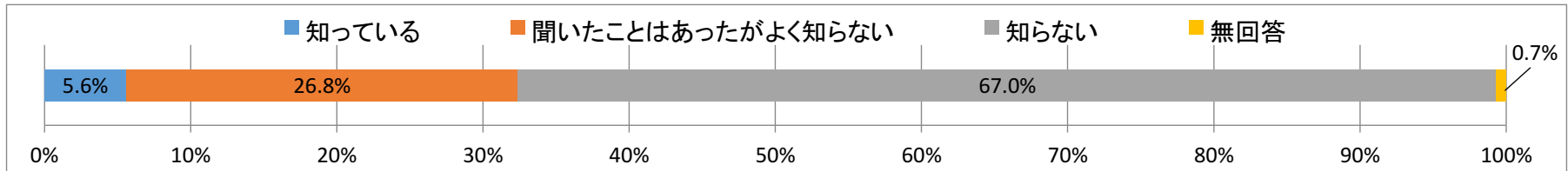
# 奈良県地域医療構想の内容の認知度

👉 奈良県の地域医療構想について、内容を「知っている」と回答したのは5%と認知度は低い。

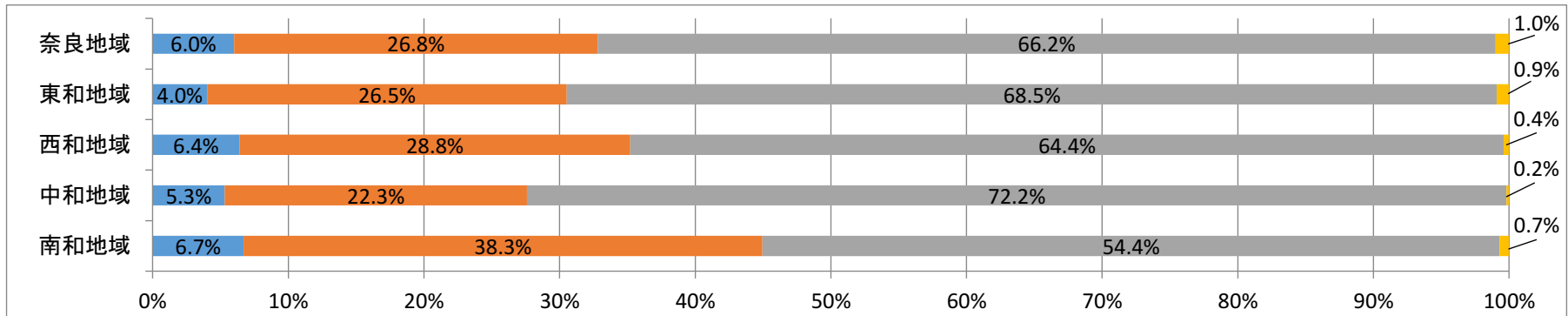
問14 奈良県では、2016年3月に「地域医療構想」が策定されていますが、その内容をご存知ですか。(奈良県の地域医療構想については、奈良県ホームページに掲載されています。)

	回答数	割合
知っている	85	5.6%
聞いたことはあったがよく知らない	407	26.8%
知らない	1,017	67.0%
無回答	10	0.7%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



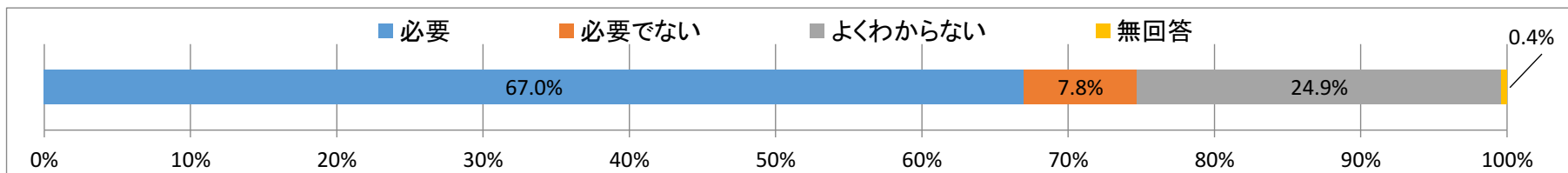
## 病院の機能分化について

☞ 入院の際の病院の役割を機能で分けることの必要性について、回答者のうちの約7割が「必要」と回答。

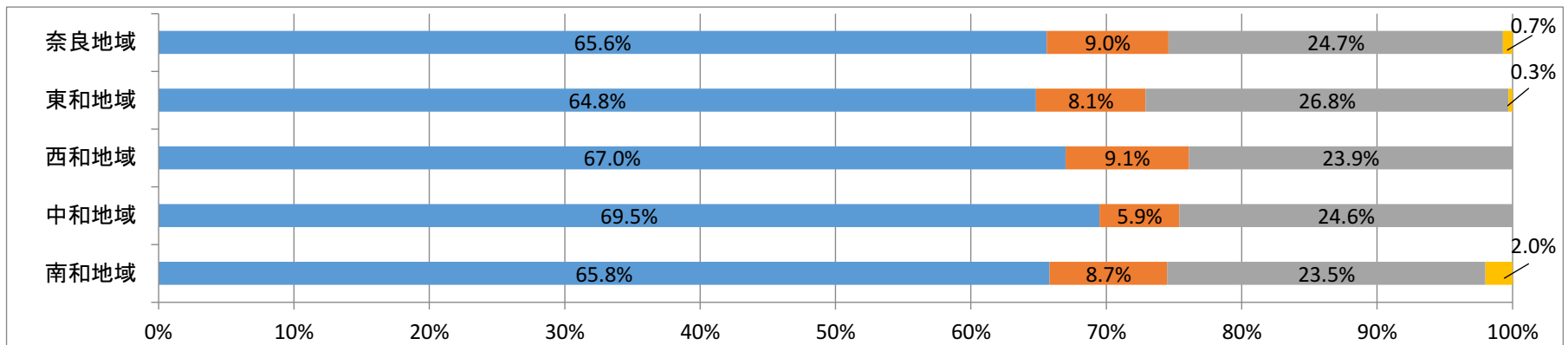
問15 入院の際の病院の役割を機能で分けることは、必要だと思いますか。

	回答数	割合
必要	1,017	67.0%
必要でない	118	7.8%
よくわからない	378	24.9%
無回答	6	0.4%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



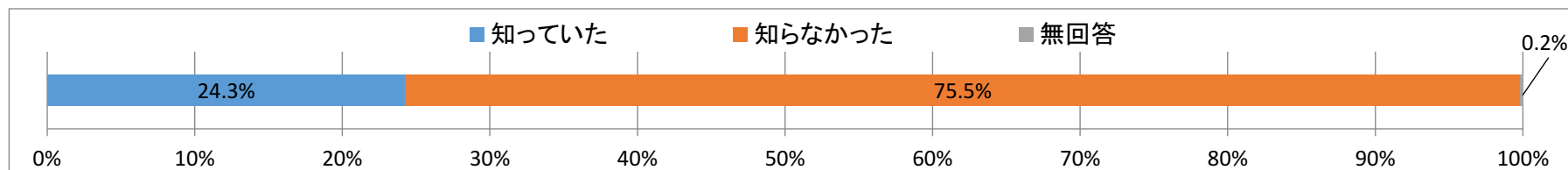
## 将来入院ベッド数が過剰になることについて

👉 将来的に入院ベッド数が過剰となることについて、回答者の約75%が「知らなかった」と回答。

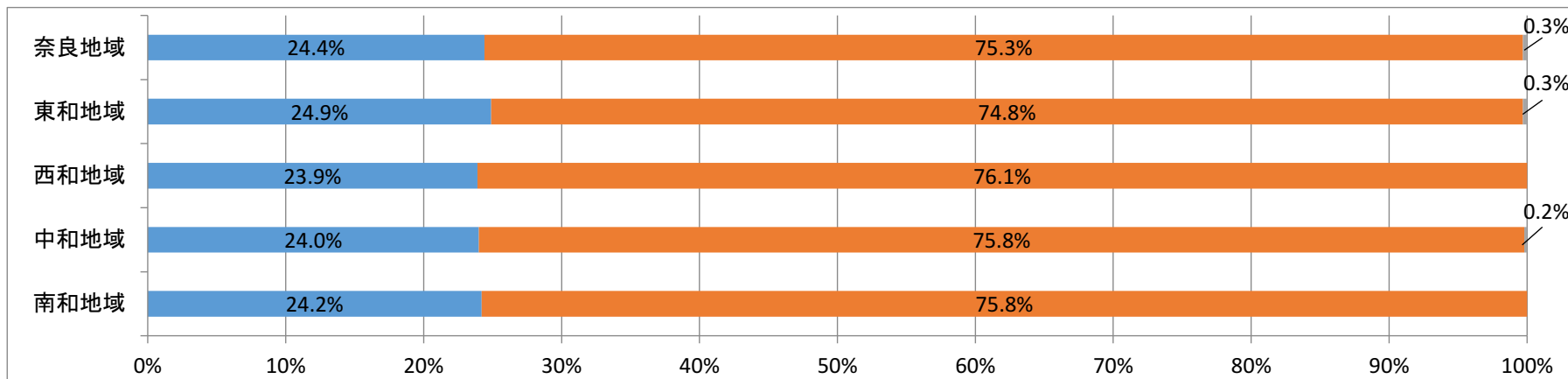
問16 将来的に国内全体では、入院ベッド数が過剰になるという推計について、ご存知でしたか。(〇は一つ)

	回答数	割合
知っていた	369	24.3%
知らなかった	1,147	75.5%
無回答	3	0.2%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



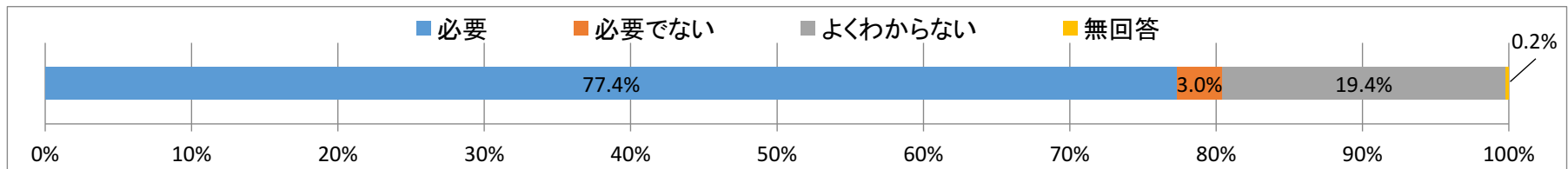
## ベッド数の変更や病院機能の振り替えについて

👉 ベッド数の変更や病院機能の振り替えについて、回答者の約8割が「必要」と回答。

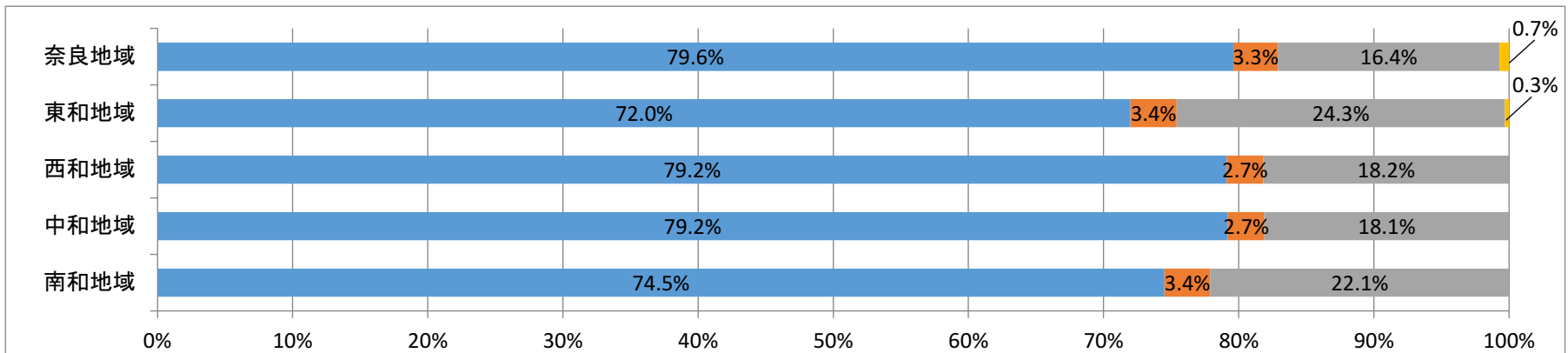
問17 この推計により、医療の需要と供給のバランスを図り、ベッド数を変更したり、病院機能を振り替えていくことは必要だと思いますか。  
(〇は一つ)

	回答数	割合
必要	1,175	77.4%
必要でない	46	3.0%
よくわからない	295	19.4%
無回答	3	0.2%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



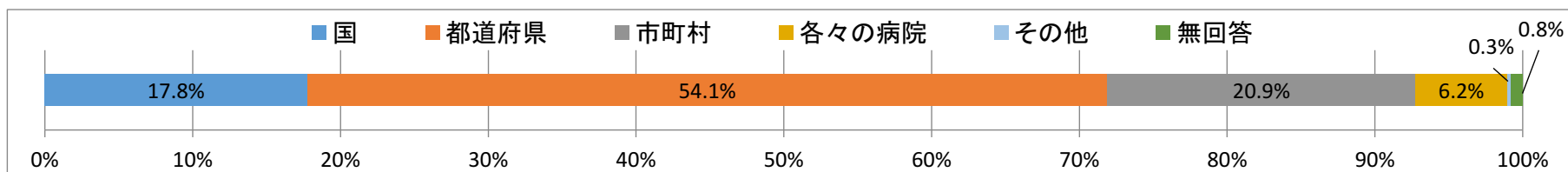
## 地域医療構想の牽引役

☞ 回答者のうちの約75%が、地域医療の確実な実現について、「国」よりも「県」に中心的な役割を担ってほしいと回答。

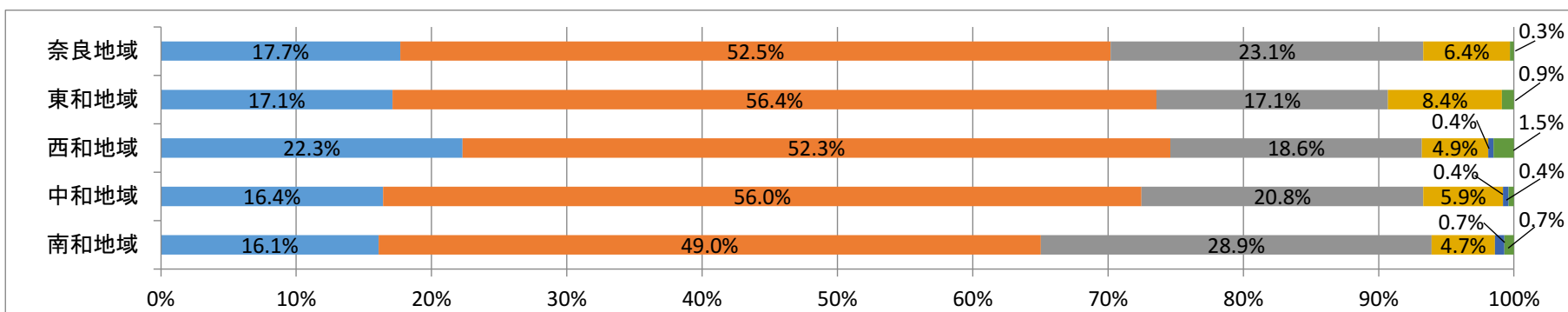
問18 地域医療構想の確実な実現に向けて、中心的な役割を担っていくのは、どこが望ましいと思いますか。(〇は一つ)

	回答数	割合
国	270	17.8%
都道府県	822	54.1%
市町村	317	20.9%
各々の病院	94	6.2%
その他	4	0.3%
無回答	12	0.8%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



## 地域医療で特に重要と考える役割、課題

- ➡ 多くの方が、「五疾病対策」、「五事業対策」が特に重要であると回答。
- ➡ 「介護分野との連携」「介護施設の増設」「生活支援・介護予防」等が重要と考えている方も多く、介護分野を重要と考えている方が多いと考えられる。

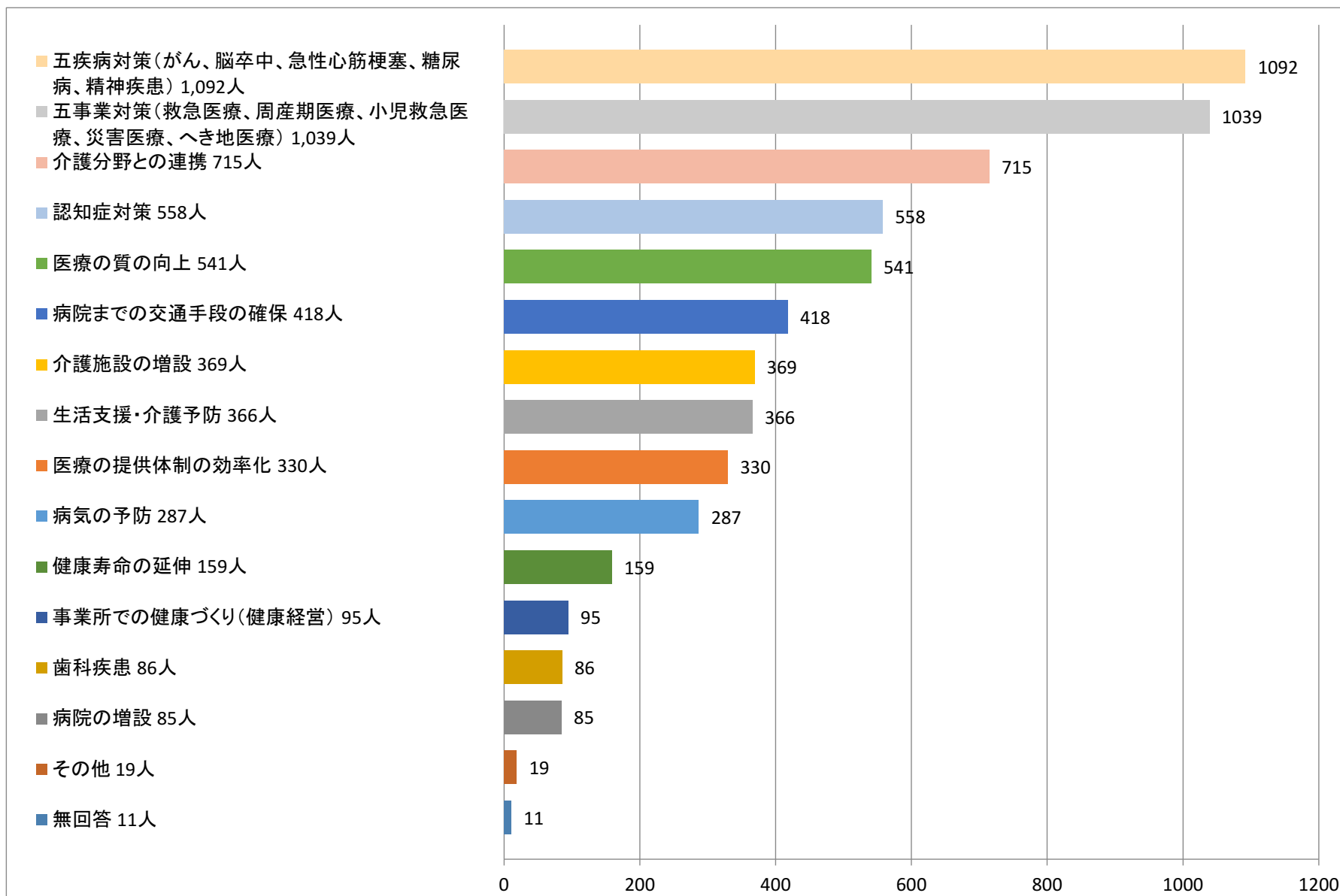
問19 これからの地域医療を考えたときに、特に重要と考えられる役割や課題についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

	回答数	割合
五疾病対策(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)	1,092	17.7%
五事業対策(救急医療、周産期医療、小児救急医療、災害医療、へき地医療)	1,039	16.8%
介護分野との連携	715	11.6%
認知症対策	558	9.0%
医療の質の向上	541	8.8%
病院までの交通手段の確保	418	6.8%
介護施設の増設	369	6.0%
生活支援・介護予防	366	5.9%
医療の提供体制の効率化	330	5.3%
病気の予防	287	4.7%
健康寿命の延伸	159	2.6%
事業所での健康づくり(健康経営)	95	1.5%
歯科疾患	86	1.4%
病院の増設	85	1.4%
その他	19	0.3%
無回答	11	0.2%
合計	6,170	100.0%

### その他の例

「医療に関わる人材の育成と増加」、「病院同士、先生同士が系列に関係なく協力して連携を取ってほしい」、「地域連携」、「医師の効率的配置」等

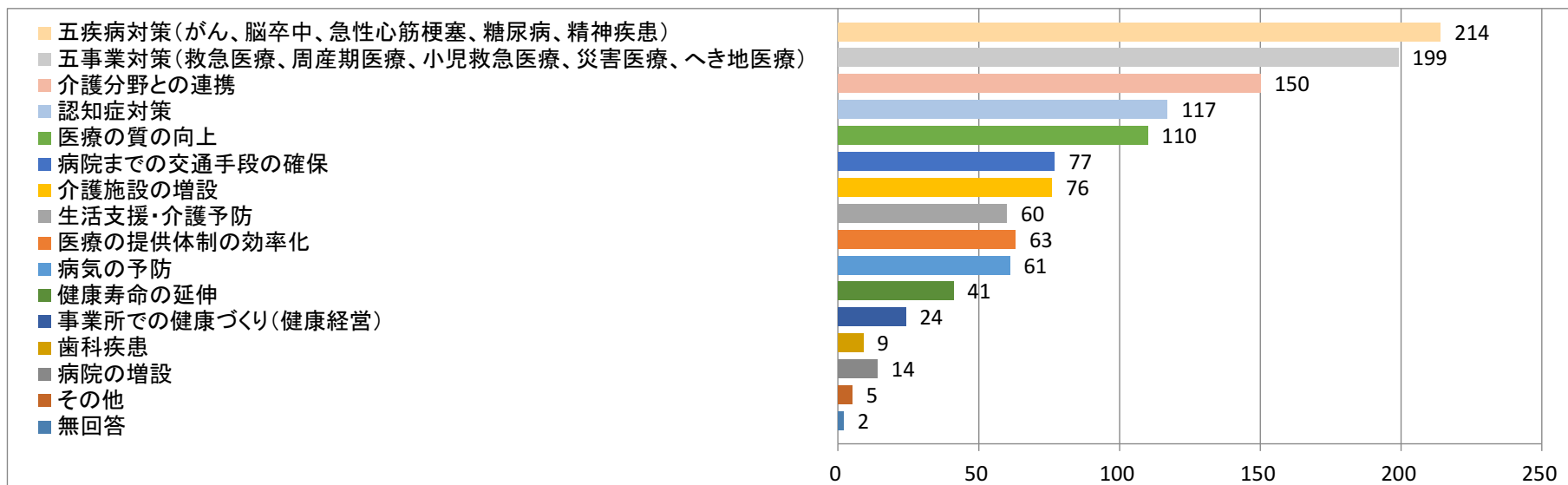
問19 全体(回答者数:1519)(○はいくつでも)



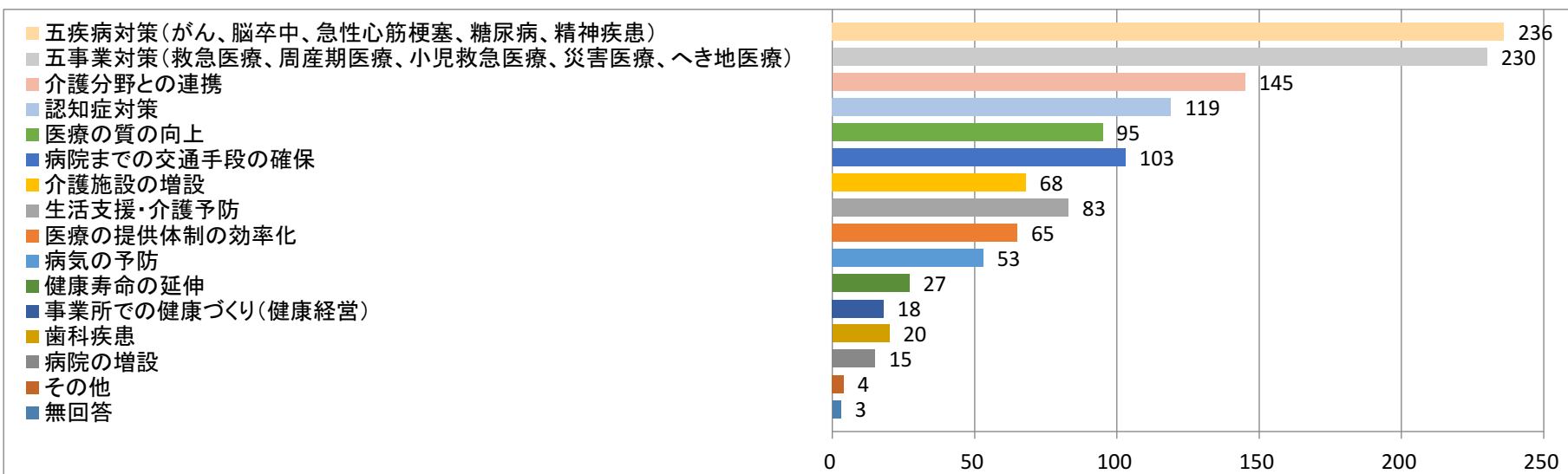


問19 ○各二次医療圏別の割合

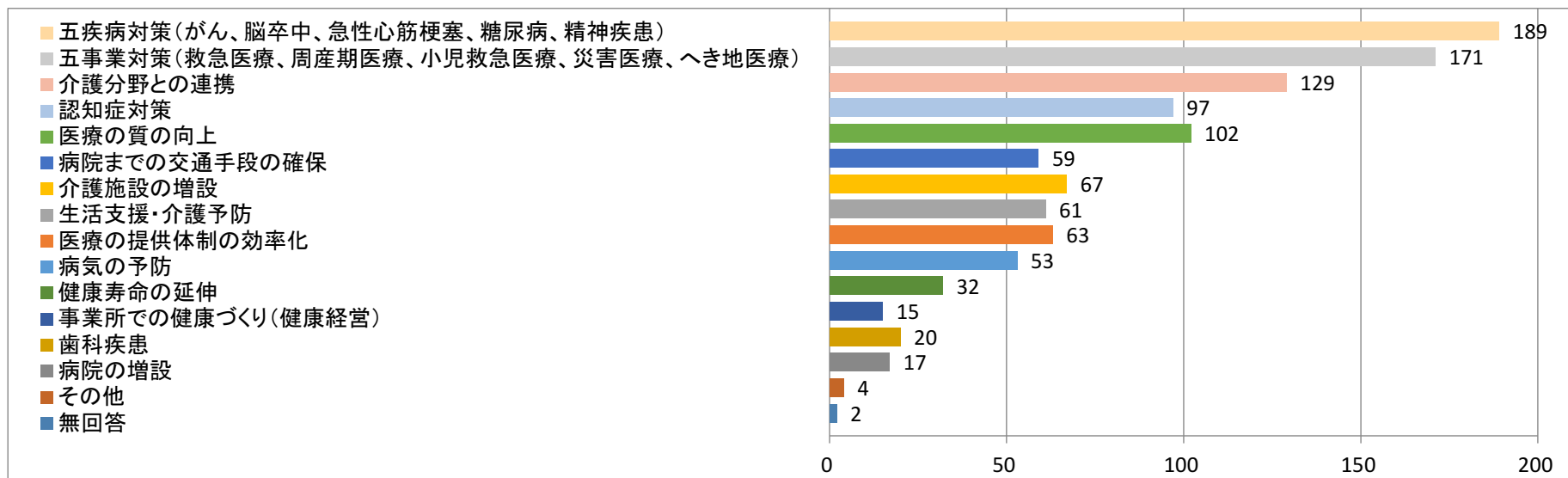
奈良地域(回答者数:299)(○はいくつでも)



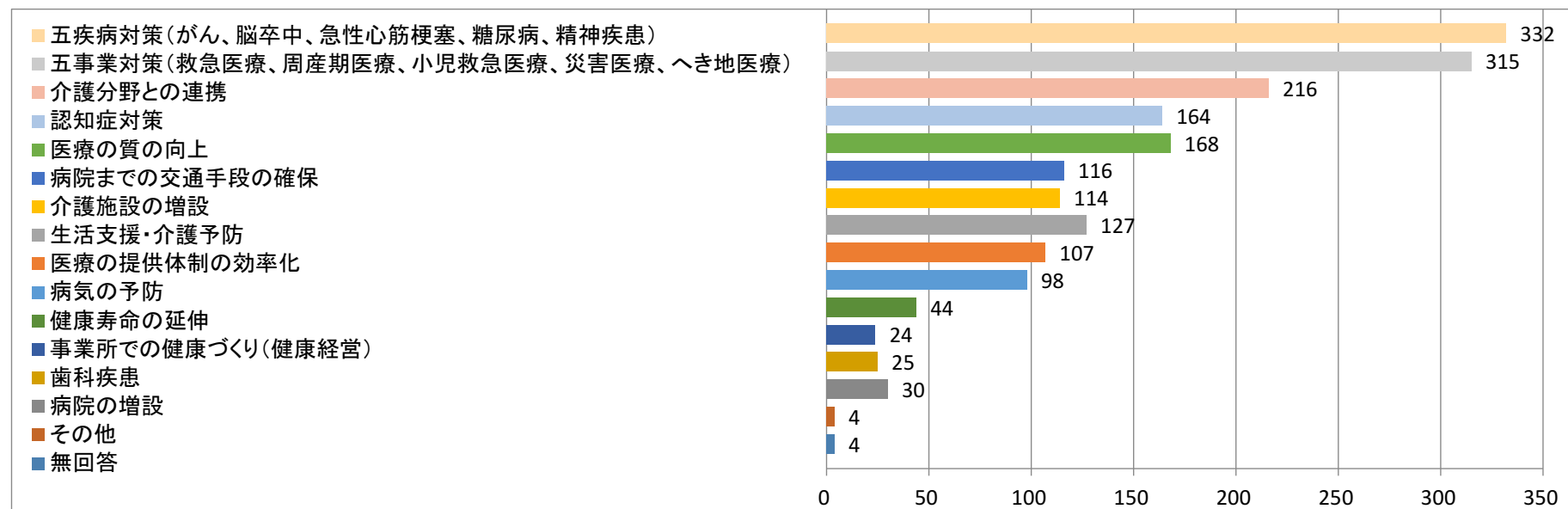
東和地域(回答者数:321)(○はいくつでも)



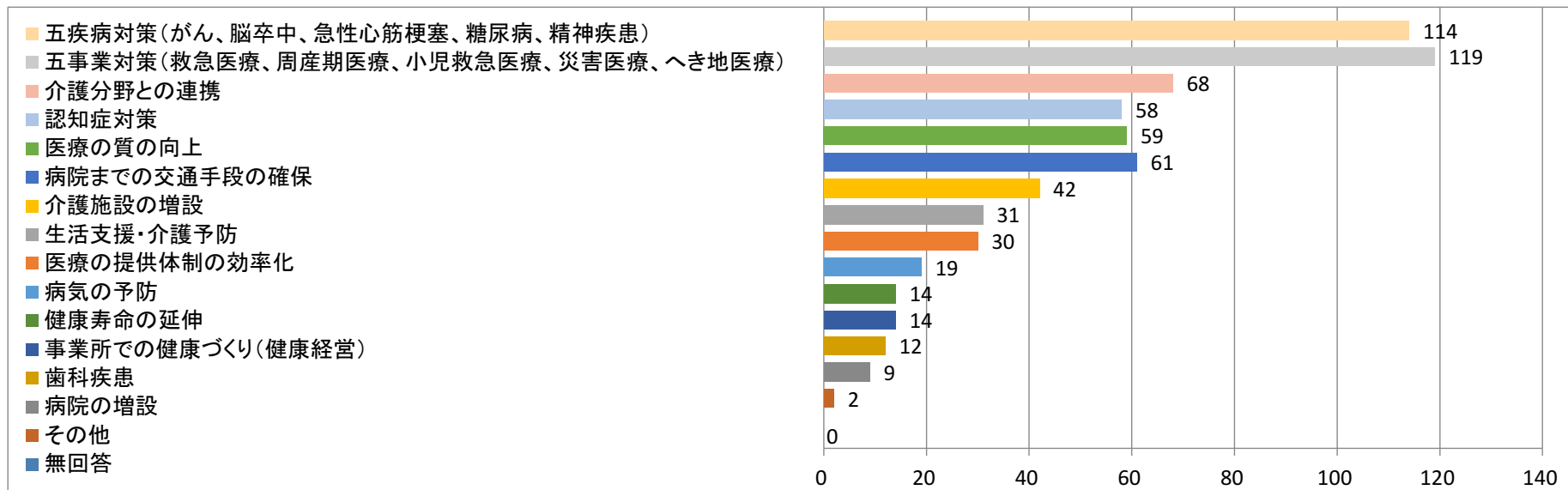
西和地域(回答者数:264)(○はいくつでも)



中和地域(回答者数:475)(○はいくつでも)



南和地域(回答者数:149)(〇はいくつでも)



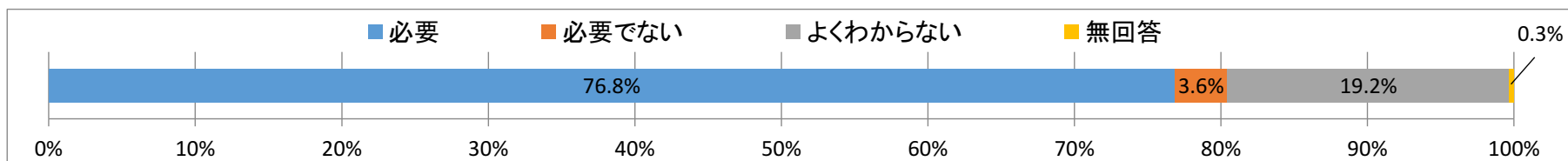
## 在宅医療の必要性

👉在宅医療等の推進について、約75%の方が「必要」と回答。

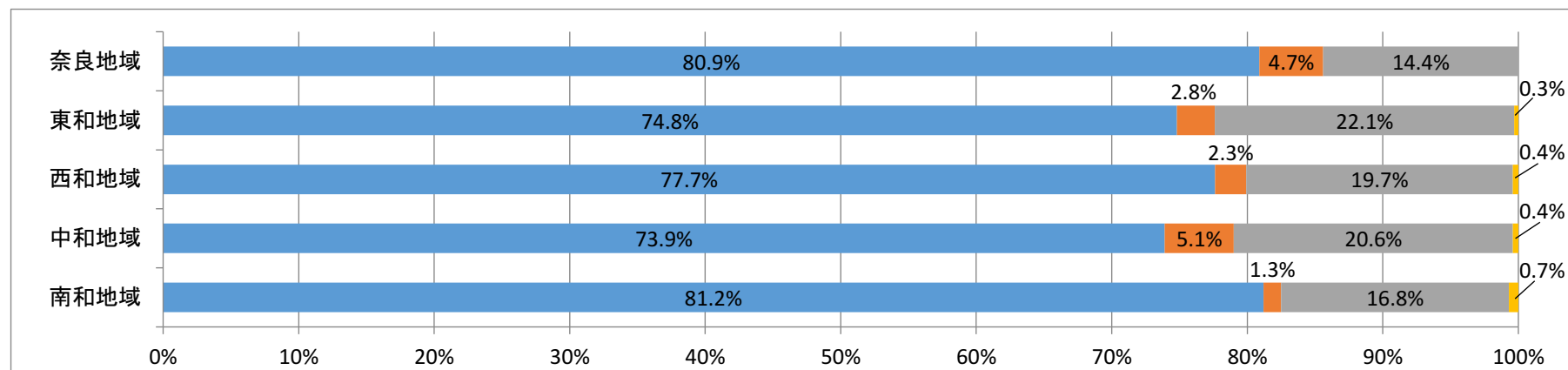
問20 在宅医療等の推進について、必要だと思いますか。(○は一つ)

	回答数	割合
必要	1,167	76.8%
必要でない	55	3.6%
よくわからない	292	19.2%
無回答	5	0.3%
合計	1,519	100.0%

○全体



○各二次医療圏別の割合



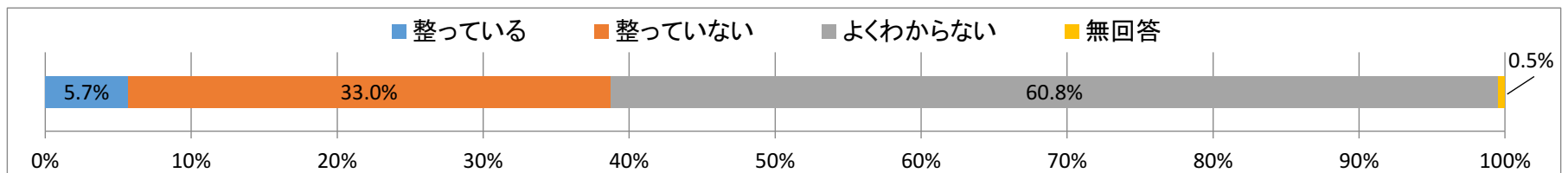
## 在宅医療の現在の体制

👉現在の在宅医療の体制について、「整っている」と回答したのは5.7%であった。

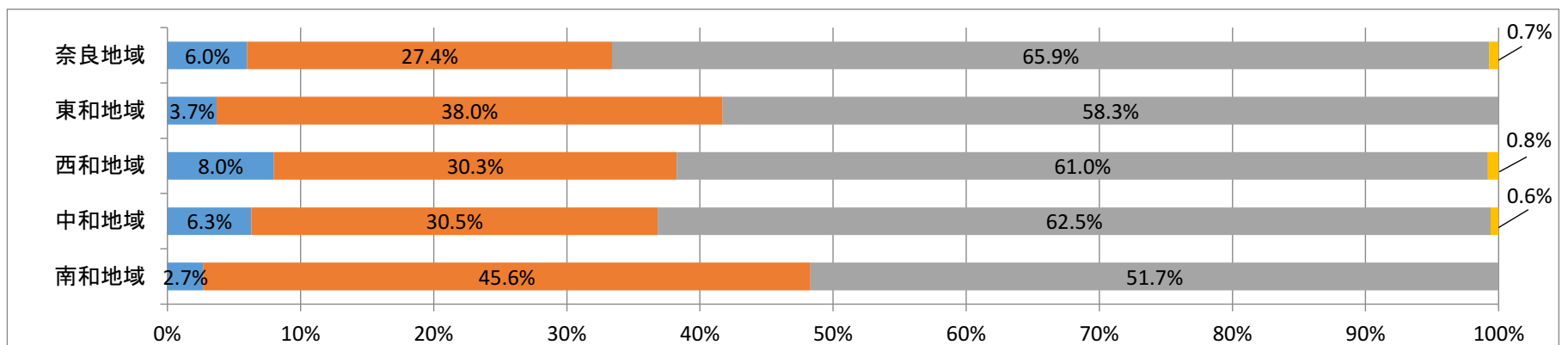
問21 現在、お住まいの地域では在宅医療等を支援するための体制が整っていると思いますか。(〇は一つ)

	回答数	割合
整っている	86	5.7%
整っていない	502	33.0%
よくわからない	924	60.8%
無回答	7	0.5%
合計	1,519	100.0%

○全体



○各二次医療圏別の割合



## 在宅医療の今後の課題

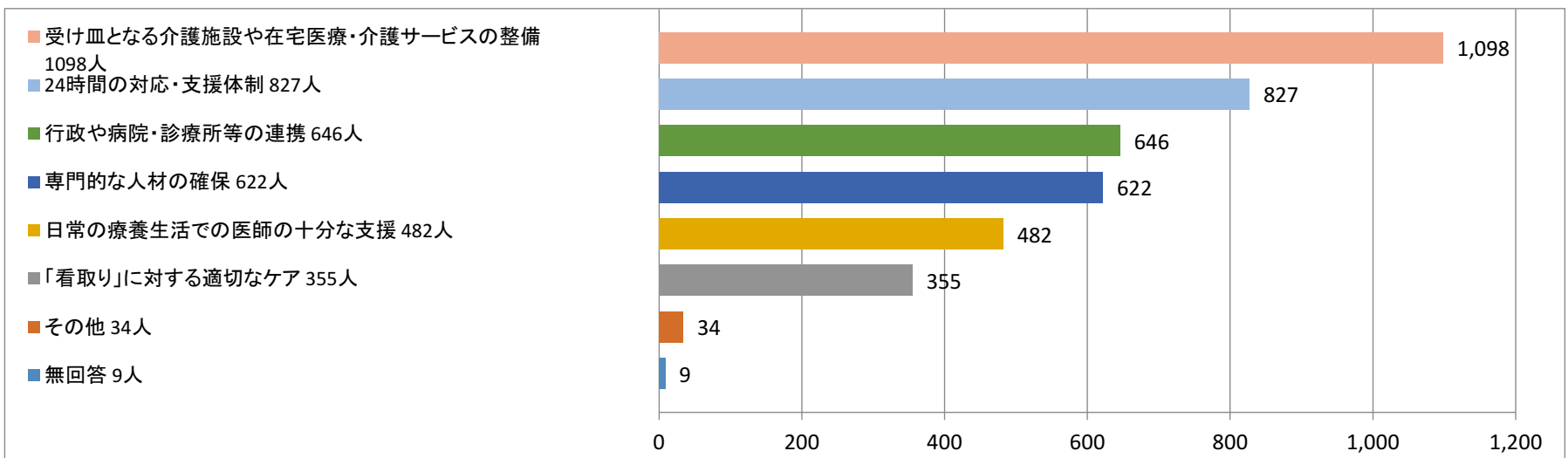
👉 アンケートの結果から、多くの方が「介護施設や在宅医療・介護サービスの整備」といった、施設・人・それらの連携に向けた環境整備が必要であると望んでいる。

問22 在宅医療等での対応がさらに進むためには、どういった環境の整備が必要と思いますか。(〇はいくつでも)

	回答数	割合
受け皿となる介護施設や在宅医療・介護サービスの整備	1,098	27.0%
24時間の対応・支援体制	827	20.3%
行政や病院・診療所等の連携	646	15.9%
専門的な人材の確保	622	15.3%
日常の療養生活での医師の十分な支援	482	11.8%
「看取り」に対する適切なケア	355	8.7%
その他	34	0.8%
無回答	9	0.2%
合計	4,073	100.0%

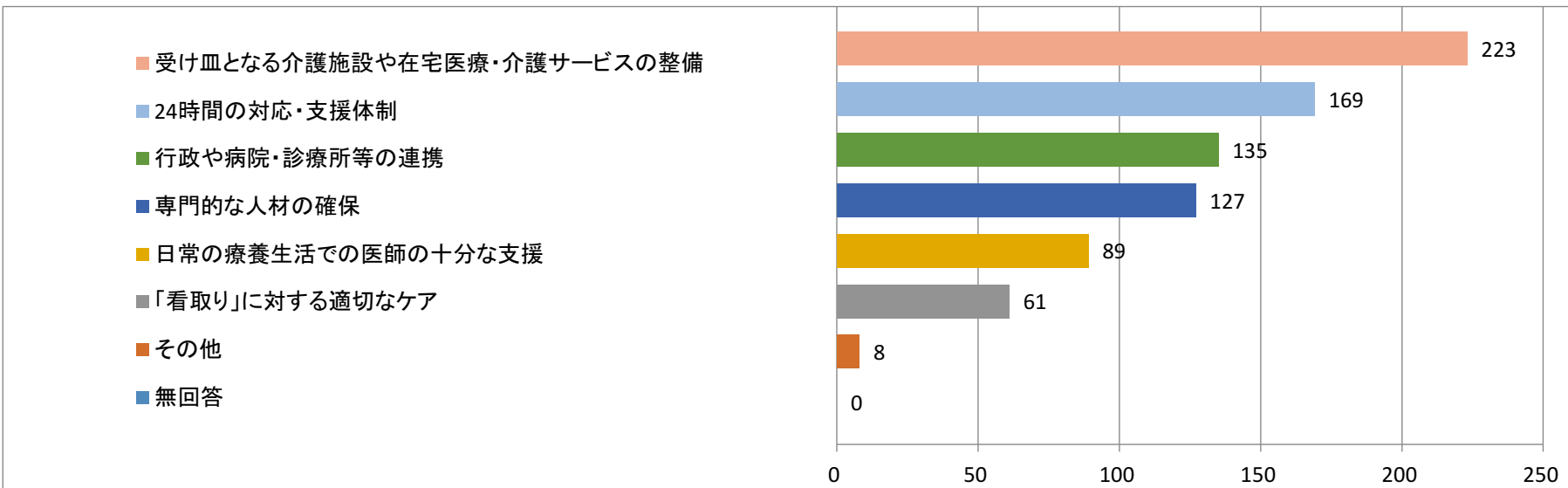
その他の例  
 「介護する側へのケア」、「家族への知識や精神的ケア」、「まずは人材の確保」、「介護従事者の待遇の改善」  
 「在宅医療を受けるための情報が少ない。問い合わせ先がわからない。」  
 「身近なところで伝えてほしいです。広報誌などでとりあげられていますか？」  
 等

全体(回答者数: 1519)(〇はいくつでも)

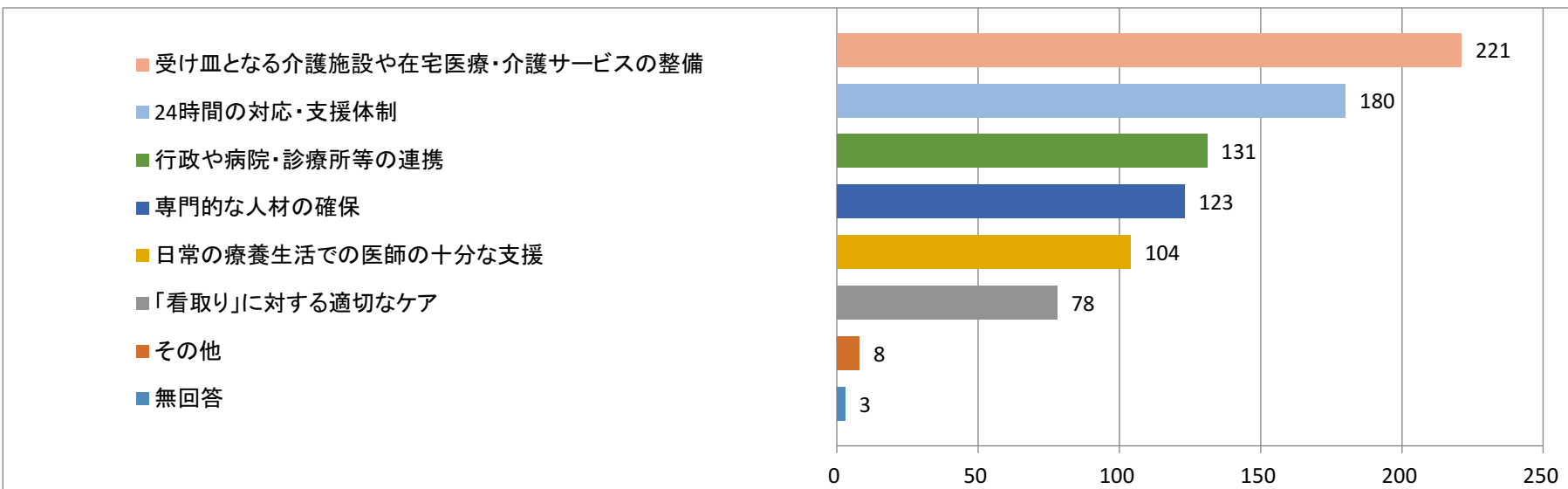


問22 ○各二次医療圏別の割合

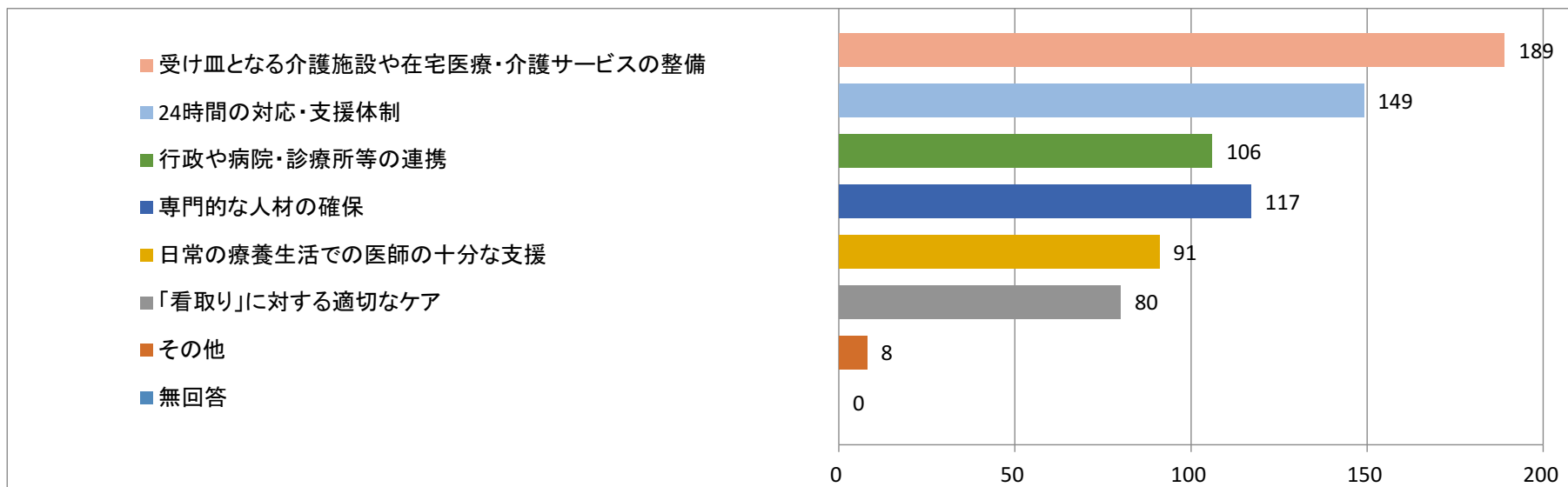
奈良地域(回答者数:299)(○はいくつでも)



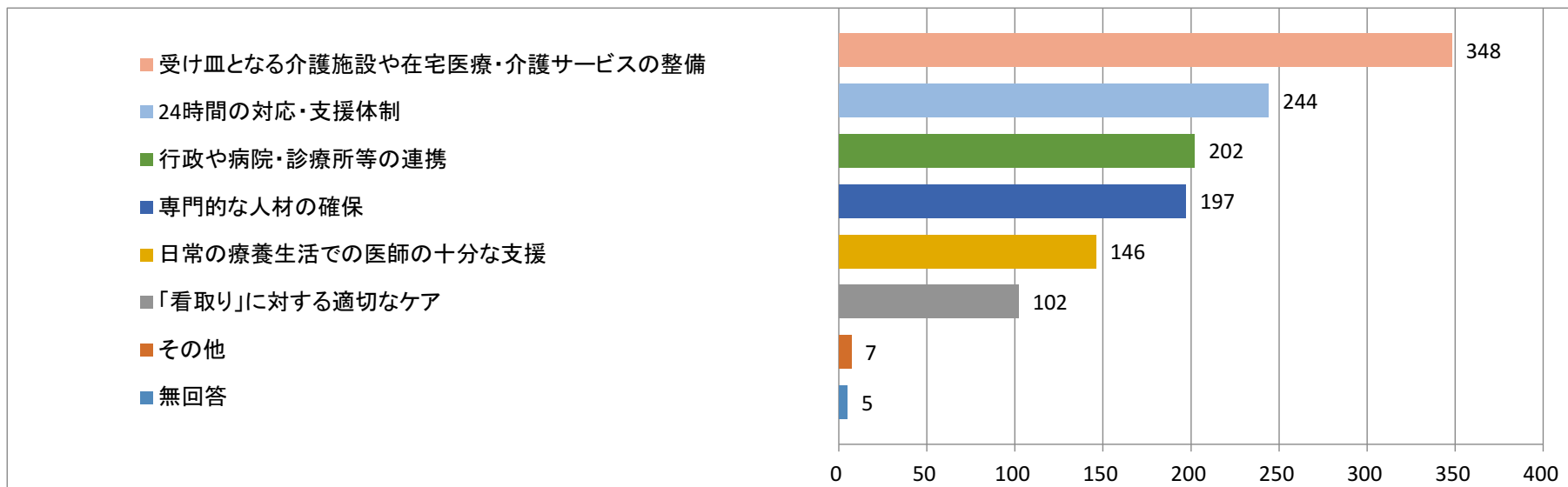
東和地域(回答者数:321)(○はいくつでも)



西和地域(回答者数:264)(〇はいくつでも)

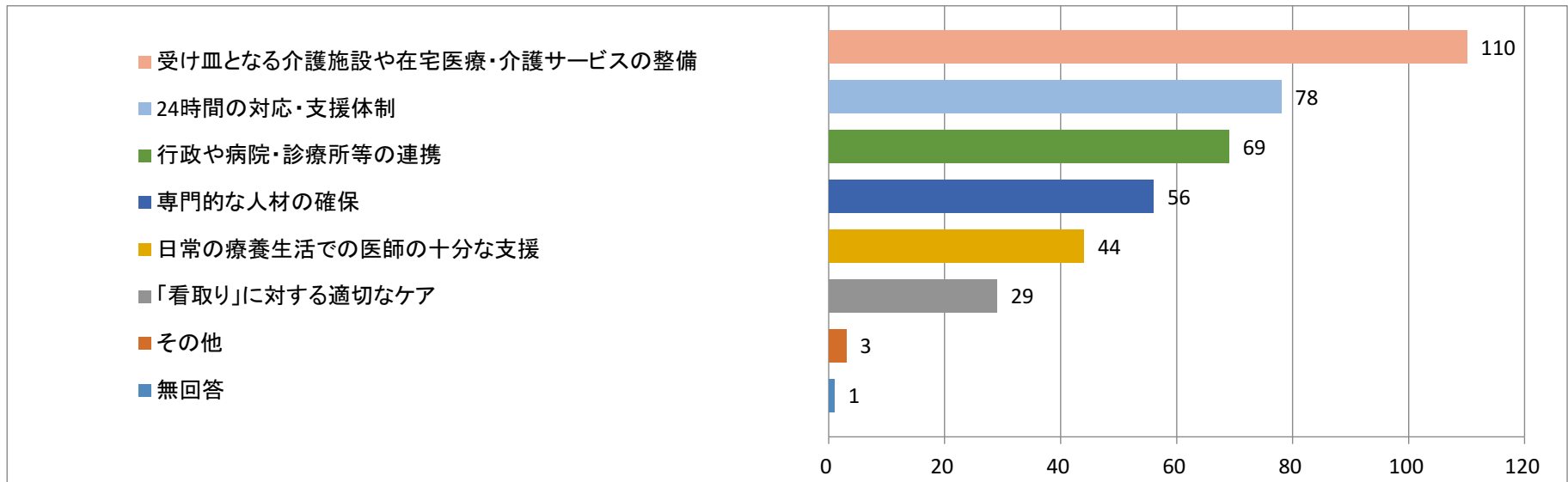


中和地域(回答者数:475)(〇はいくつでも)





南和地域(回答者数:149)(〇はいくつでも)



## 協会けんぽに期待する発言

👉各医療圏で大きな差はないが、「緊急時の受診」、「居住地での医療・介護体制の充実」、「高度先進医療の充実」と続いている。

問23 協会けんぽに対し、今後どのような観点での発言を期待しますか。(〇はいくつでも)

	回答数	割合
脳卒中や心筋梗塞などの発症初期等の緊急時(待てない・選べない状況等)の速やかな受診	926	17.7%
高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活できるような医療・介護体制の充実	864	16.5%
小児・周産期、がん等の先進・高度・特殊医療機能を有する中核病院の充実	760	14.5%
認知症患者および認知症患者のいる世帯へのサポート体制の充実	644	12.3%
高齢化の進展により複数の疾患を抱えたり、完治しないケースも多くなるが、その際に、他の専門医や介護などの他分野と連携・調整役を担ってくれる総合診療専門医が身近にいること	624	11.9%
患者が自宅で安心して療養生活ができるための支援を行う「かかりつけ医」を中心とした在宅医療体制の充実	555	10.6%
人生の最終段階を患者の自宅で不安なく看取りができる環境づくり	397	7.6%
小児医療や周産期医療等で地域により偏在のある診療科については、受診機会の格差をできるだけ縮小すること	389	7.4%
その他	61	1.2%
無回答	20	0.4%
合計	5,240	100.0%

### その他の例

「救急搬送の際、総合病院への受診歴がない場合、受け入れ拒否をされることが多々あります。そういった方もスムーズに搬送して頂ける環境が必要です」

「小児、幼児医療の地域格差をなくしてほしい。専門開業医が少なく相談できる医療機関がない様に思える」

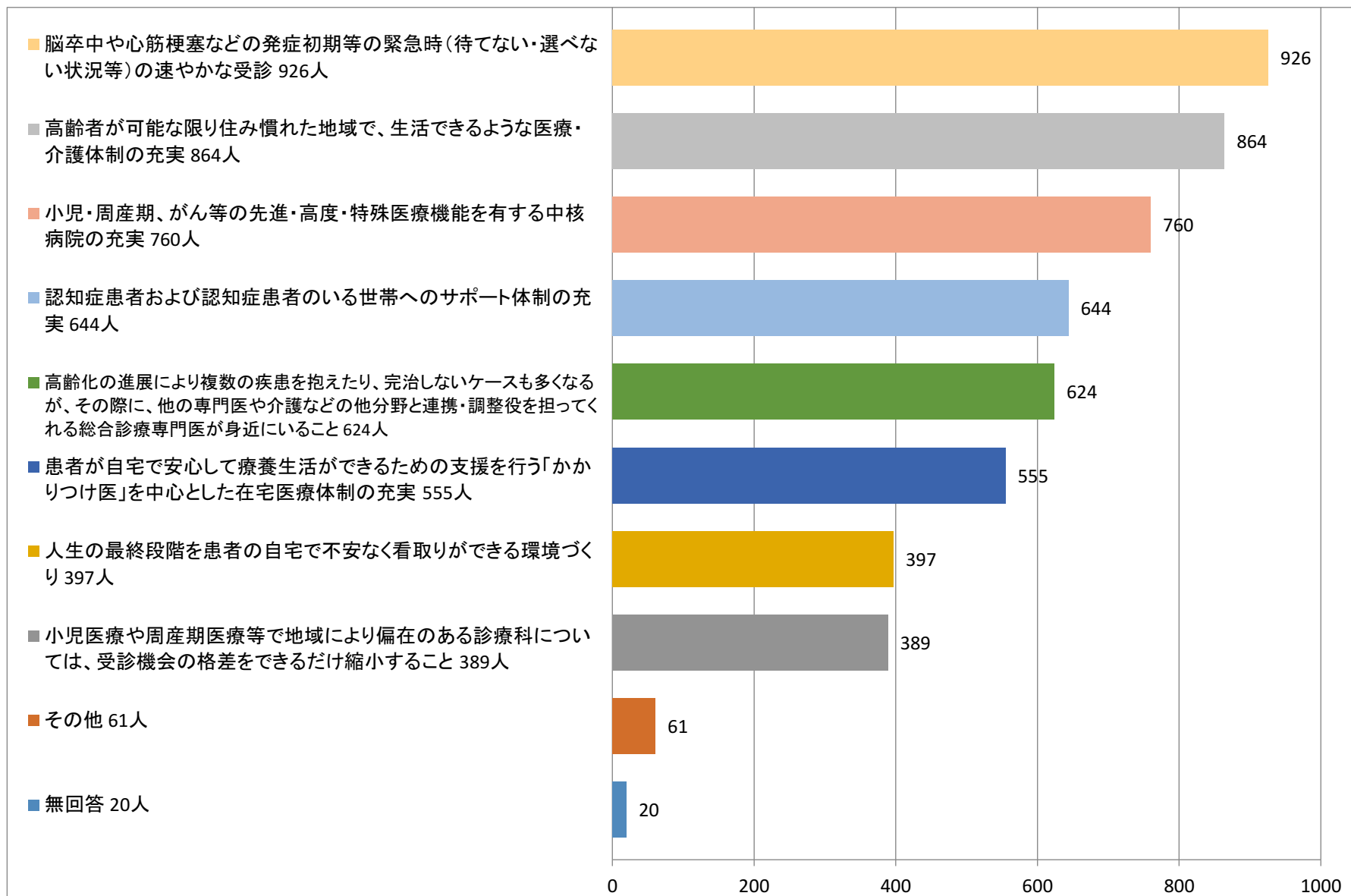
「居宅の住宅の介護による家族への負担・老老介護の増による負担をへらす」

「医療機関の質の格差縮小→充実。他県にくらべて充実度が低い」

「病院に行かなくてもいい環境づくり。人と会うため病院を利用するのをやめる(寄合場所のように)。出さなくてもいい薬を減らす。歩いて暮らすことの出来る、健康寿命を大事にする」

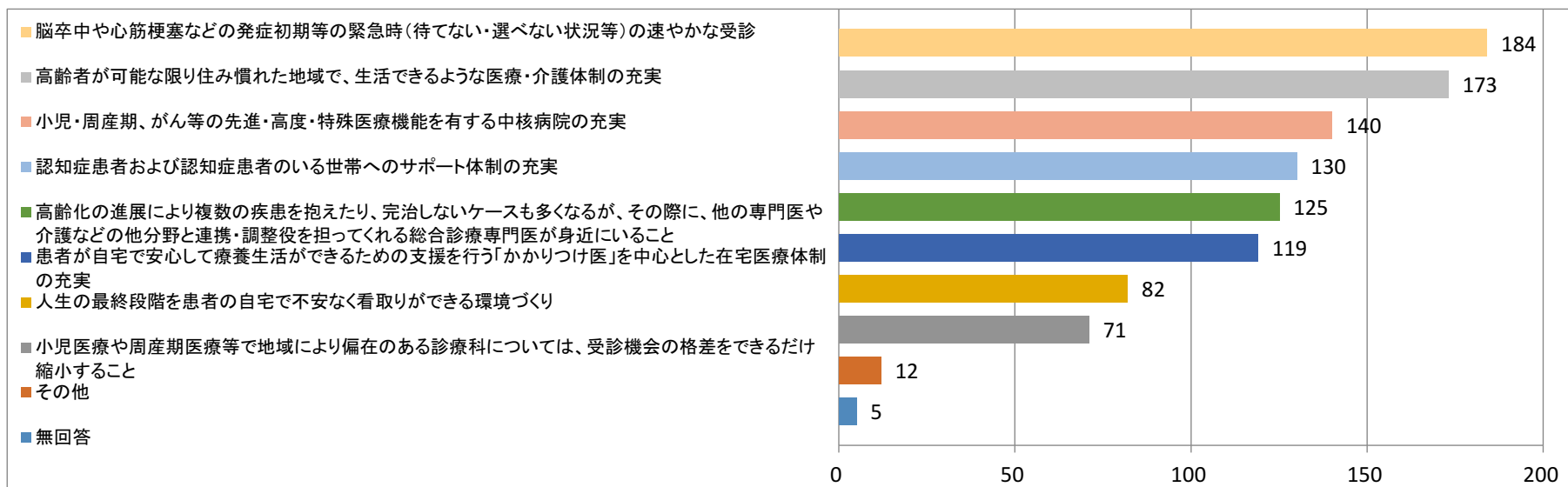
「在宅医療・看護体制は医師や看護師への負担が重く、報酬の改善や人材の確保が思っています。在宅介護でもヘルパーさんの評価が低く、なり手が不足していると聞きます。このまま“構想”が進めば、家族の負担がより一層重くなると懸念しています」等

全体(回答者数: 1519)(○はいくつでも)

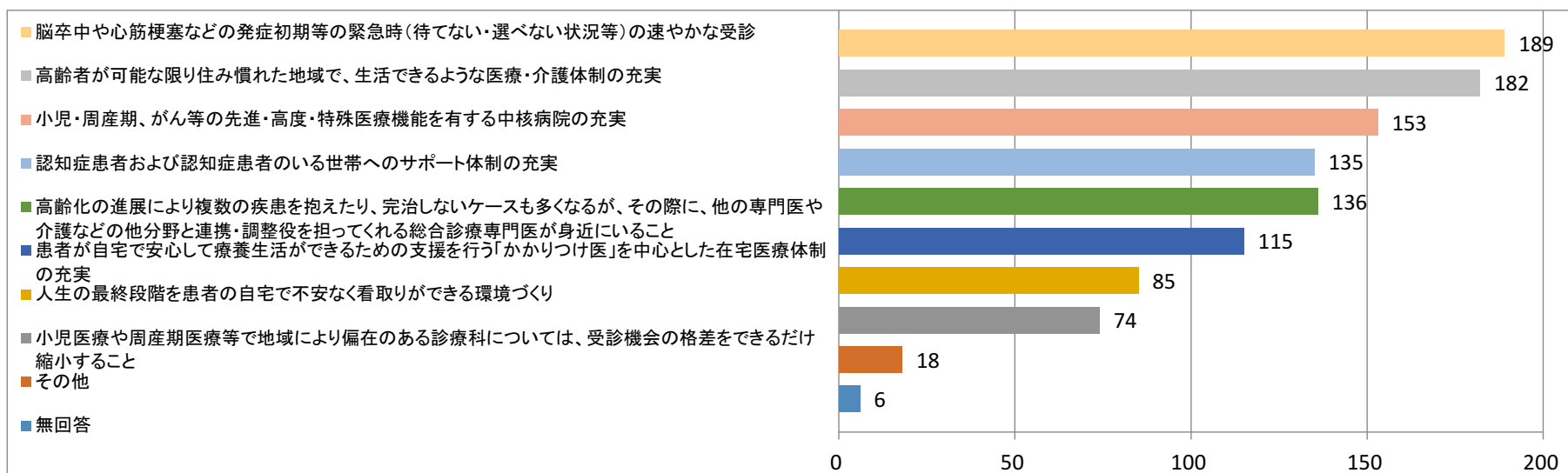


### 問23 ○各二次医療圏別の割合

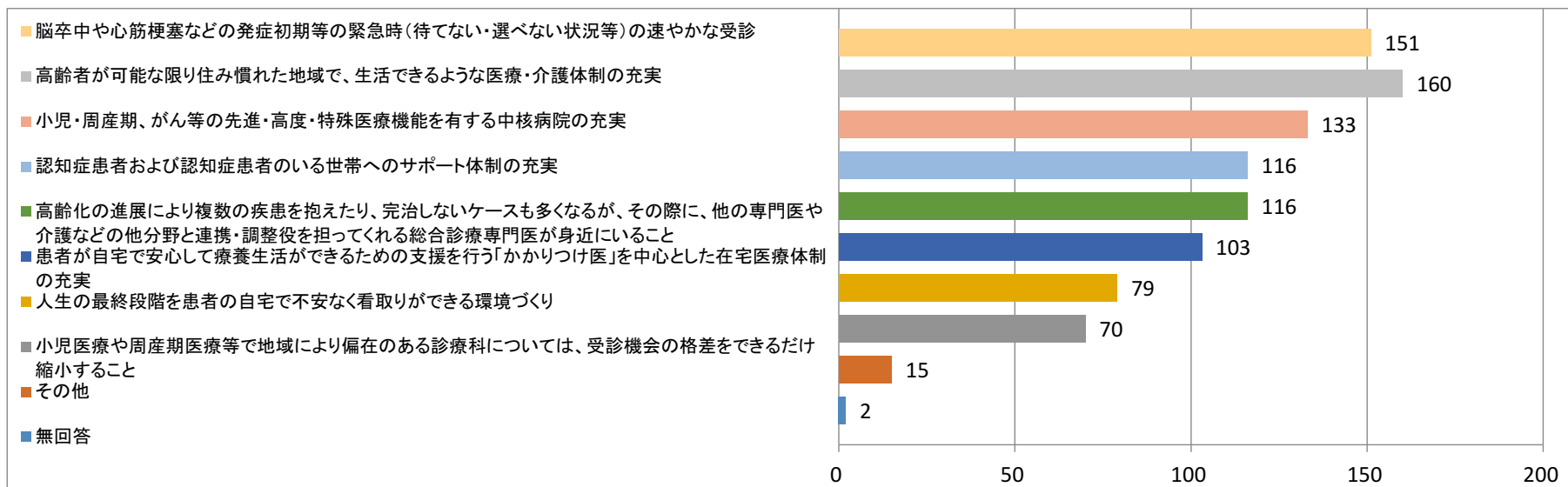
奈良地域(回答者数:299)(○はいくつでも)



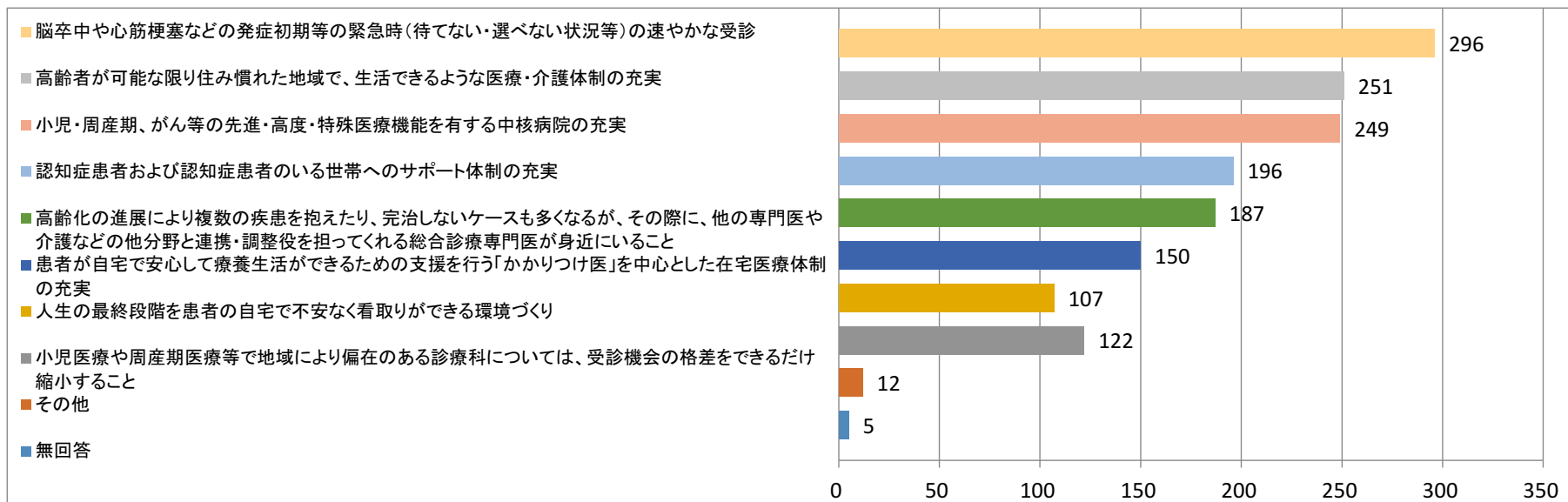
東和地域(回答者数:321)(○はいくつでも)



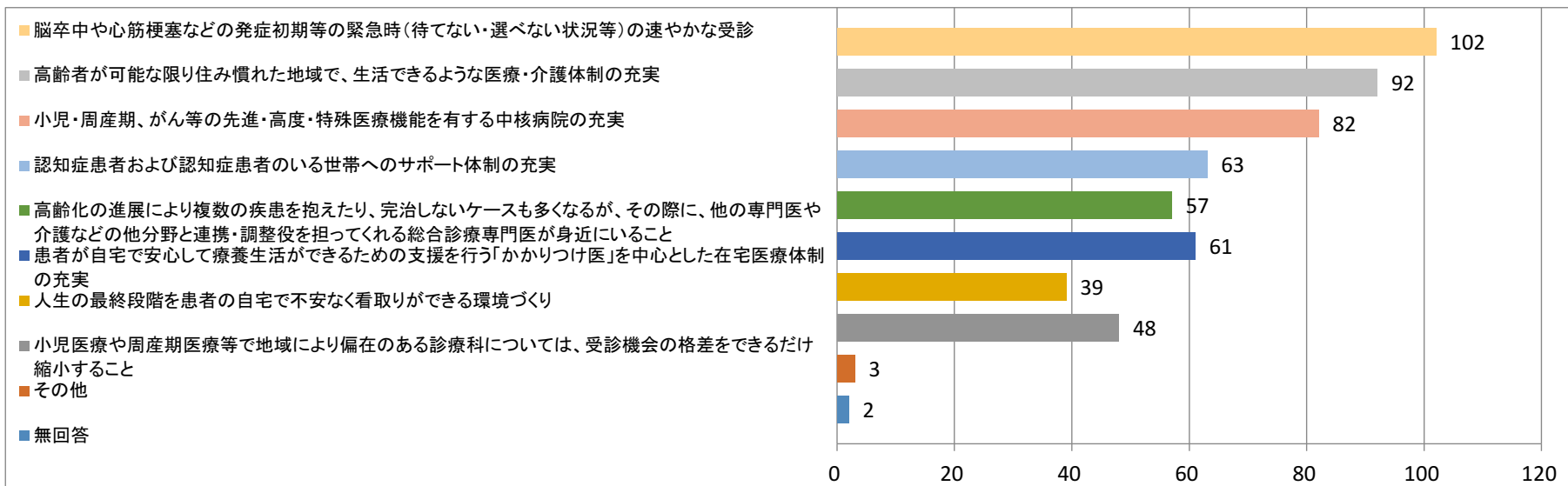
西和地域(回答者数:264)(○はいくつでも)



中和地域(回答者数:475)(○はいくつでも)



南和地域(回答者数:149)(○はいくつでも)



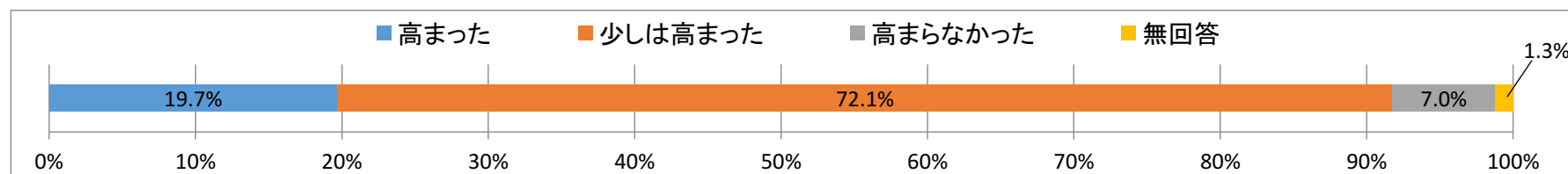
## アンケート後の地域医療構想に対する関心度

👉 回答者の約9割が、このアンケートを通じて、地域医療構想に対する関心が、「高まった」「少しは高まった」と回答。

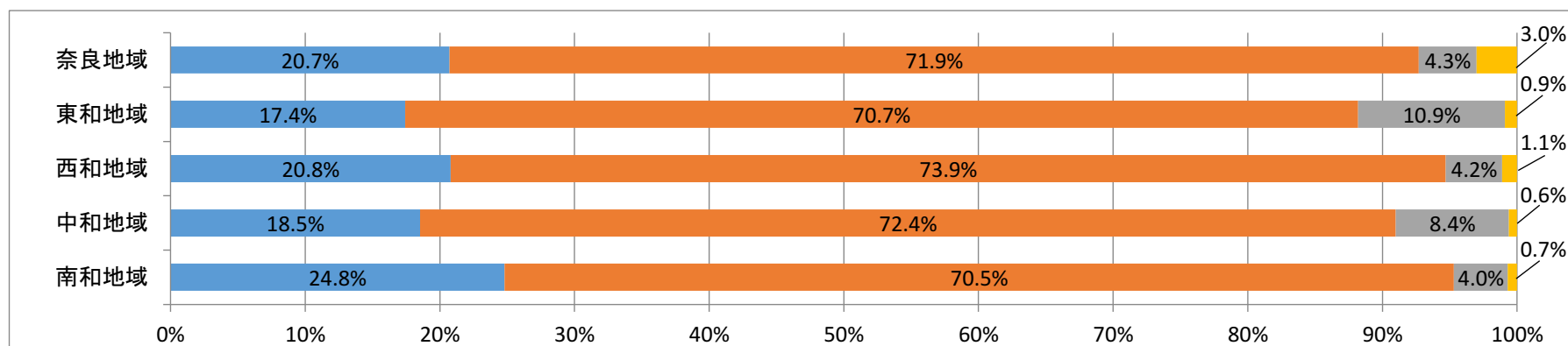
問24 このアンケートを通じて「地域医療構想」について、興味や関心が高まりましたか。(〇は一つ)

	回答数	割合
高ま	299	19.7%
少しは高	1,095	72.1%
高まらな	106	7.0%
無回	19	1.3%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合



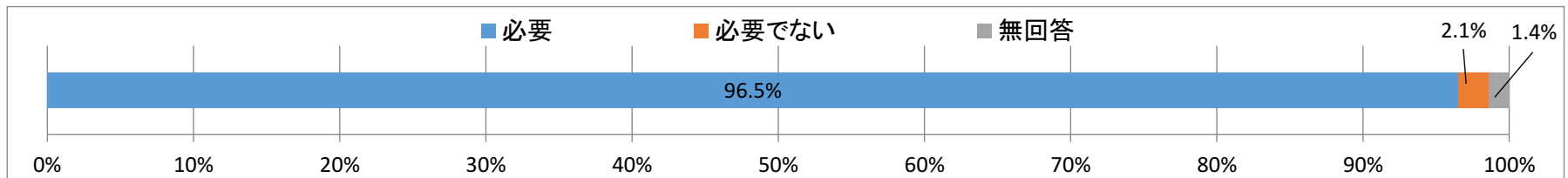
## 地域医療構想のわかりやすい情報発信について

👉 回答者のうち約95%が、地域医療構想について、奈良県としての情報発信が必要と回答。

問25 「地域医療構想」について、奈良県として、もっとわかりやすい情報発信が必要だと思いませんか。

	回答数	割合
必要	1,466	96.5%
必要でない	32	2.1%
無回答	21	1.4%
合計	1,519	100.0%

○ 全体



○ 各二次医療圏別の割合

